

リアホナ

100万人に達するメキシコの会員
34ページ

モルドバの開拓者
20ページ

自分が何者であるかを知る
「フレンド」2ページ

リアホナ



表紙
写真/ドン・L・サール



「フレンド」表紙
絵/スティーブ・クロップ



「自分が何者であるかを知る」
「フレンド」2ページを
見ましょう

一般

- 2 大管長会メッセージ——信仰の奇跡 第一副管長 トーマス・S・モンソン
- 8 モルモン書早見表 図2——アルマ書からモルモン書とモロナイ書まで
- 25 家庭訪問メッセージ——祈りを通して主の愛を感じる
- 26 非行グループの影響から子供を守る デニス・J・ノードフェルト
- 30 モルモン書に記された原則——御父の御心に従う
地域幹部七十人 ベンハミン・デ・ホヨス
- 34 100万人に達するメキシコの会員 ドン・L・サール
- 44 末日聖徒の声
子供がおぼれているの！ 中塚祐文
よく似た二つのテーブル ソン・クワン・リー, ベス・エリス・リー
彼女がわたしの答えでした ドリー・ライト
- 48 読者からの便り

青少年

- 15 ポスター——波を起こせ
- 16 すべては善し 十二使徒定員会 デビッド・B・ヘイト
- 20 モルドバからのメッセージ カール・フィンチ, サンドラ・フィンチ
- 29 数では圧倒されているが…… パオロ・マーティン・N・マカリオラ
- 47 御存じでしたか

フレンド

- F2 預言者の声——自分が何者であるかを知る 第二副管長 ジェームズ・E・ファスト
- F4 分かち合いの時間——とくべつな日 シーラ・E・ウィルソン
- F6 ヒーバー・J・グラントだいかんちょうのしょうがいから
——歌をならう
- F8 作ってみよう——しんでんはかぞくにしゅくふくをもたらします
- F10 勇気, そして, 親切な言葉
パトリシア・リース・ローパー
- F14 友だちになろう
——フロリダ州ミラマーに住む
メジーヌ・アテュー
ティファニー・E・ルイス





ウォルト・ガッツァーとケーティ・ガッツァーの厚意による。複写は禁じられています。

「スイートウォーター川を渡る」デビット・コッホ画

1856年、J・D・T・マッカリスターは、手車隊の志気を高める歌を書いた。「さあ押せ、それ引け、／この山を登れ。／陽気に進もう／あの谷目指して。」

(『子供の歌集』136) 絵は、スイートウォーター川を渡る開拓者を描写している。

末日聖徒イエス・キリスト教会公式機関誌(日本語版)
大管長会:ゴードン・B・ヒンクレー, トーマス・S・モンソン,
ジェームズ・E・ファウスト
十二使徒定員会:ボイド・K・バックナー, L・トム・ペリー, デビッド・B・ヘイト, ニール・A・マックスウェル, ラッセル・M・ネelson,
ダリン・H・オーグス, M・ラッセル・バラード, ジョセフ・B・ワースリン, リチャード・G・スコット, ロバート・D・ヘイルズ,
ジェフリー・R・ホランド, ヘンリー・B・アイリング

編集長:ジェイ・E・ジェンセン
顧問:E・レイ・ベイトマン, モンティ・J・ブラフ, スティーブ・A・ウェスト
実務運営ディレクター:デビッド・フリッシュニク
企画編集ディレクター:ピクター・D・ケーブ
グラフィックスディレクター:アラン・R・ロイボーク
機関誌編集ディレクター:リチャード・M・ロムニー
編集主幹:マービン・K・ガードナー
編集スタッフ:コレット・ネベカー・オース, スーザン・バレット, シヤナ・パトラー,
ライアン・カー, リンダ・ステール・クーパー, ラリオン・ポーター,
ガート, ジェニファー・L・グリーンウッド, R・パウル・ジョンソン, キャリー・カスデン,
メルビン・リービット, サリー・J・オデカーク, アダム・C・オーソン,
ジュディス・M・パーラー, ビビアン・ポールセン, ドン・L・サール,
レベッカ・M・テラー, ロジャー・テリ, キヤネット・トーマス, ポール・バンデンバーク,
ジュリー・ワートレ, キンバリー・ウェッブ, モニカ・ウィークス

実務運営アートディレクター:M・M・カワサキ
アートディレクター:スコット・P・カンペン
制作主幹:ジェーン・アン・ビーターズ
デザイン・制作スタッフ:クリー・アレンプラット, ハワード・G・ブラウン,
トーマス・S・チャイルド, レジナルド・J・クリステンセン, キャスリーン・
ハワード, デニス・カービン, タット・R・ビーターソン, ランドール・J・
ヒグソン, カリ・A・トッド, クラウディア・E・ワナー
マーケティング部長:ラリー・ヒラー
印刷ディレクター:クレグ・K・セジウィック
配送ディレクター:クリス・T・クリステンセン

●定期購読は、「リアホナ」注文用紙(でお申し込みになるか、郵便振替(口座名/末日聖徒イエス・キリスト教会 振替口座番号/00100-6-41512)にて教会管理本部配送センターへご送金いただければ、直接郵送いたします。●「リアホナ」のお申し込み・配送についてのお問い合わせ……133-0057東京都江戸川区西小岩5-8-6/末日聖徒イエス・キリスト教会 管理本部配送センター 電話 03-5668-3391
発行所 末日聖徒イエス・キリスト教会
〒106-0047東京都港区南麻布5-10-30
電話 03-3440-2351

定価 年間予約/海外予約 2,400円(送料共)
半年予約 1,200円(送料共)
普通号/大会号 200円
【リアホナ】への投稿およびご質問は、下記の連絡先にお送りください。
Room 2420, 50 East North Temple Street,
Salt Lake City, UT 84150-3220, USA
電子メール:cur-liahona-imag@ldschurch.org

【リアホナ】(モルモン書)に出てくる言葉、「羅針盤」または「指示器」の意)は、以下の言語で出版されています。
アイスランド語, アルバニア語, アルメニア語, イタリア語, インドネシア語, ウクライナ語, 英語, エストニア語, オランダ語, 韓国語, カンボジア語, キリバス語, クロアチア語, サモア語, シンハラ語, スウェーデン語, ス페인語, スロベニア語, セブア語, タイ語, タガログ語, タヒチ語, タミル語, 中国語, チェコ語, テルグ語, デンマーク語, ドイツ語, トンガ語, 日本語, ルルウェー語, ハイチ語, ハンガリー語, フィジー語, フィンランド語, フランス語, ブルガリア語, ベトナム語, ポーランド語, ポルトガル語, マーシャル語, マダガスカル語, モンゴル語, ラトビア語, リトアニア語, ルーマニア語, ロシア語。(発行頻度は言語により異なります。)
©2004 Intellectual Reserve, Inc. 版権所有。印刷:日本

【リアホナ】に掲載されている文章や視覚資料は、教会や家庭において臨時に、また非営利目的に使用する場合は複写することができます。視覚資料に関しては、作品のクレジットに制限が記されている場合に複写できないことがあります。ご質問は、Intellectual Property Office, 50 East North Temple Street, Salt Lake City, UT 84150, USAに郵送するか、電話—1-801-240-3959, 電子メール—cor-intellectual-property@ldschurch.org にご連絡ください。

英語版承認—1996年8月 翻訳承認—1996年8月
原題—International Magazines July 2004.
Japanese, 24987 300

【リアホナ】は、教会のホームページwww.lds.org(英語)に様々な言語で掲載されています。英語の場合は「Gospel Library」(福音図書館)をクリックしてください。その他の言語は世界地図をクリックしてください。

For Readers in the United States and Canada:
July 2004 no. 7 LIAHONA (USPS 311-480) Japanese (ISSN 1521-4729) is published monthly by The Church of Jesus Christ of Latter-day Saints, 50 East North Temple, Salt Lake City, UT 84150, USA. Subscription price is \$10.00 per year; Canada, \$16.00 plus applicable taxes. Periodicals Postage Paid at Salt Lake City, Utah, and at additional mailing offices. Sixty days' notice required for change of address. Include address label from a recent issue; old and new address must be included. Send USA and Canadian subscriptions and queries to Salt Lake Distribution Center at address below. Subscription help line: 1-800-537-5971. Credit card orders (Visa, MasterCard, American Express) may be taken by phone. (Canada Poste Information: Publication Agreement #40017431)

POSTMASTER: Send address changes to Salt Lake Distribution Center, Church Magazines, PO Box 26368, Salt Lake City, UT 84126-0368.

家庭の夕べのためのアイデア



「御父の御心に従う」30

ページ——生まれながらの墮落した状態にいるとき、人は神の御心に反することをやりたいという欲求や性癖を持つという概念について話し合しましょう。この誘惑に打ち勝つにはどうすればいいか尋ねてください。自分独りではこの戦いに勝利することはできないと家族が理解できるようにしましょう。「悪を行う性癖をもう二度と持つこと」がないよう、救い主の贖いの力を通して心を変えるためには、悔い改めて救い主を招き入れなければなりません(モーサヤ5:2参照)。

「非行グループの影響から子供を守る」26ページ, 「数では圧倒されているが……」29ページ

——親の立場に立って、デニス・J・ノードフェルトの記事を読み、話し合ってください。子供たちと、彼らの友達について話し合しましょう。子供たちに愛を示し、彼らが自分の持つ永遠の可能性について証を得られるように助けてください。天の御父が彼らを愛し、いつの日かのもとに戻って来るよう望んでおられることを証してください。導きを受けたなら、パオロ・マーティン・N・マカリオラの話を紹介してください。この若い男性は正しい友人のグループを選ぶのに非常な勇気を必要としました。そのことを強調してください。

「すべては善し」16ページ

——ウィリアム・クレイトンと彼が「すべては善し」と呼んだ賛美歌について読んでください。試練や困難のさなかにあってさえすべてを「善し」として受け入れるにはどうすればよいか尋ねてください。

「自分が何者であるかを知る」F2ページ

——才能がある、何かを達成するといったことでは必ずしも心に満足が得られるわけではありませんが、親切な行いを通して満足が得られる、とジェームズ・E・ファウスト副管長は指摘しています。奉仕したときどんな気持ちになるか家族に尋ねてください。周りの人のためにどのような親切な行いができるか話し合しましょう。

「勇氣,そして、親切な言葉」F10

ページ——エバン・スティーブンスの話を家族で読んでください。ブリガム・ヤング大管長の親切な言葉によってエバンの生活に生じた変化について話し合しましょう。末日聖徒の賛美歌集があれば、エバン・スティーブンスの作った賛美歌を子供たちに探させてください。

今月号に採り上げられているテーマ

Fは「フレンド」の略		
愛	25	信仰 2, 34
イエス・キリスト		親切 44, F2, F10
	2, 25, 30	障害 2
祈り	25, 44	神殿 34, 44, F4, F8
教え	1	聖文の研究 8
親の務め	26	世界に広がる教会
音楽	16, F6, F10	20, 34, F14
開拓者		20, 34, F14
	16, 20, 47, F10	伝道活動 44
家族		不屈の精神 F6
	16, 26, F4, F8, F14	非行グループ 26, 29
家庭の夕べ	1, F8	標準 29
神の性質	F2	奉仕 30, 44, F2
奇跡	2, 44	ホームティーチング 7
教会歴史	34	訪問教師 25
指導力	47	模範 15
従順	16, 30	モルモン書 8, 30
初等協会	F4	勇氣 F10



信仰の奇跡

第一副管長

トーマス・S・モンソン

およそ50年前のことです。高名な政治家であり、世界的に高い評価を受けた学者でもあった当時の副管長、J・ルーベン・クラーク・ジュニア長老(1871-1961年)のもとに招かれたことがあります。そのころ、わたしは出版印刷業を営んでいました。クラーク副管長はわたしをオフィスに招き入れ、蛇腹式のふたの付いた古い机の中から手書きの原稿の束を取り出しました。その原稿の多くは、法律を学んでいたころに書いた随分昔のものでした。そして副管長は、4つの福音書の対観書を出版するという自身の目標について簡単に説明しました。その望みは、『福音書の主』(Our Lord of the Gospel)という不朽の名著として完成し、世に出ることになったのです。

ナザレのイエスの生涯をたどったこのすばらしい本がわたしの書斎の本棚にあります。特別に革装丁され、著者の署名が入ったものです。じっくりと読み進めていくうちに、「イエスの奇跡」という章が目を引きました。

クラーク副管長がその奇跡の数々を読むようにわたしに頼み、大きな革のいすに背をもたせながら聞き入っていたことを、まるで昨日のこのように覚えています。それはわたしの人生の中で、決して忘れることのできない一日でした。

クラーク長老は、全身にらい病を患っていた人に関する、ルカによる福音書の聖句を読んでもくれないかと言いました。わたしは読み始めました。

「イエスがある町におられた時、全身らい病になっている人がそこにいた。イエスを見ると、顔を地に伏せて願って言った、『主よ、みこころでしたら、きよめていただけるのですが。』

イエスは手を伸ばして彼にさわり、『そうしてあげよう、きよくなれ』と言われた。すると、らい病がただちに去ってしまった。」(ルカ5:12-13)

次に副管長は、中風に苦しむ人が独創的な方法でイエスのもとに連れて来られた部分を、ルカによる福音書から続けて読んでほしいと言いました。

「その時、ある人々が、ひとりの中風をわ



わたしの胸は、仲保者としての聖なる働きによってわたしたちの苦しみを和らげ、病氣の人を癒し、死人を生き返らせてくださる主への感謝でいっぱいになります。しかしながら、同じように苦しんでいても、主を見いだす方法を知らない人々が数多くいます。こうした人々を思うと、わたしは深い悲しみを覚えます。

ずらっている人を床にのせたまま連れてきて、家の中に運び入れ、イエスの前に置こうとした。

ところが、群衆のためにどうしても運び入れる方法がなかったの、屋根にのぼり、瓦をはいで、病人を床ごと群衆のまん中につりおろして、イエスの前においた。

イエスは彼らの信仰を見て、『人よ、あなたの罪はゆるされた』と言われた。』（ルカ5：18-20）

聖文に記されているところによれば、それを聞いたパリサイ人たちは、だれに罪を赦す権利があるのかと意地悪く論じ始めました。そのとき、イエスはこう言って論争をお鎮めになったのです。

『あなたがたは心の中で何を論じているのか。

あなたの罪はゆるされたと言うのと、起きて歩けと言うのと、どちらがたやすいか。

しかし、人の子は地上で罪をゆるす権威を持っていることが、あなたがたにわかるために』と彼らに対して言い、中風の者にむかって、『あなたに命じる。起きよ、床を取り上げて家に帰れ』と言われた。

すると病人は即座にみんなの前で起きあがり、寝ていた床を取りあげて、神をあがめながら家に帰って行った。』（ルカ5：22-25）

わたしが聖文の記述を読み終えるとクラーク副管長は、「年を取ると涙もろくなってね」と言いながらポケットからハンカチを取り出して涙をふきました。短く別れのあいさつを交わすと、わたしは副管長が独り、思いにふけり、涙を流すことができるようにオフィスを後にしました。

クラーク副管長との経験を思い起こすと、わたしの胸は、仲保者としての聖なる働きによってわたしたちの苦しみを和らげ、病気の人を癒し、死人を生き返らせてくださる主への感謝でいっぱいになります。しかしながら、同じように苦しんでいても、主を見いだす方法を知らず、その教えを学ばず、その力の恩恵にあずかることのない人が数多くいます。こうした人々を思うと、わたしは深い悲しみを覚えます。クラーク副管長自身も、真珠湾で娘婿のマービン・S・ベニオンが悲劇的な戦死を遂げたときに深い悲しみと心痛を経験しました。マービンは戦艦ウェストバージニアの艦長だったのです。その日、やぶには身代わりの雄羊はいませんでした。炸裂した爆弾の破片を止めてくれる鋼鉄も、戦争で受けた傷を癒してくれる奇跡もなかったのです。しかし、副管長の信仰が揺らぐことはありませんでした。祈りに対する主の答えは、耐える勇気を与えてくれました。

神の助けはすぐ近くにある

今日も同じことが言えます。人生には、愛する者が病気に倒れたり、事故に遭って残酷な傷跡が残ったり、かつては元気に走り回っていた小さな子供が、車いすを使う境遇になったりすることもあります。かわいい子供の誕生を心待ちにしていた両親が、生まれたばかりのわが子に障害があると知らされることもあります。四肢に欠損があったり、目が見えなかったりすることもあるれば、脳に損傷があったり、ダウン症が宣告されたりすることもあります。どの場合も、両親は困惑し、悲しみ、わずかな望みにすがります。

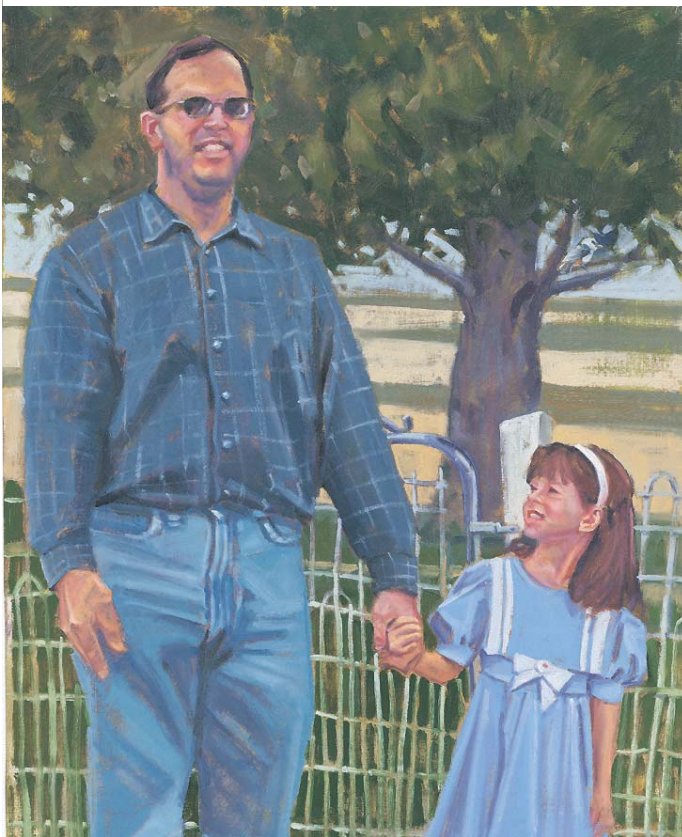
そして人は、自分と自分の不注意を責め、絶え間なく自問するのです。「どうしてこんな悲劇が我が家を襲ったのだろう。」「どうしてあの子を家に置いておかなかったのだろう。」「あの子がパーティーにさえ行かなかったら。」「どうしてこんなことが起こったのだろう。」「神は一体どこにおられたのか。」「守護天使はどこにいたのか。」この、もし、なぜ、どこに、どうして、という言葉が幾度繰り返されても、亡くなった息子や、完全な体、砕かれた親の期待や若者の夢を取り戻すことはできません。自己憐憫に明け暮れたり、殻に閉じこもったり、絶望にさいなまれたりしても、決して心の平安と自信を取り戻すことも、必要な助けを得ることもありません。むしろ、前向きに、頭を上げて、天に向かって進み続けなければなりません。

決して忘れてならないのは、わたしたちの身に降りかかったのと同じことを経験した人が必ずいるということです。だれもが何とか現実を乗り越えてきました。わたしたちも同じように現実に対処していかなければならないのです。わたしたちは独りではありません。天の御父の助けは、すぐ近くにあるのです。

ヨブの模範

ヨブほどの苦しみに遭った人は恐らくいないでしょう。ヨブは「全く、かつ正しく、神を恐れ、悪に遠ざかった」と書かれています（ヨブ1：1）。申し分のない恵まれた生活をしていました。そして文字どおりすべてを失う時が来ます。富も家族も、健康すらも失ってしまうのです。あるときには、「神をのろって死になさい」とまで言われました（ヨブ2：9）。ヨブは、ほかに幾つもの苦難を経験しながらも信仰を増し加えていき、真理を証し、勇気を示し、神への信頼を表明しました。

「どうか、わたしの言葉が、書きとめられるように。どうか、わたしの言葉が、書物にしるされるように。」



鉄の筆と鉛とをもって、ながく岩に刻みつけられるように。

わたしは知る、わたしをあがなう者は生きておられる、後の日に彼は必ず地の上に立たれる。

わたしの皮がこのように滅ぼされたのち、わたしは肉にあって神を見るであろう。

しかもわたしの味方として見るであろう。わたしの見る者はこれ以外のものではない。」(欽定訳ヨブ19：23-27から和訳)

ここで、苦しみを経験した人たちの人生を皆さんと一緒にかいま見たいと思います。悲嘆の涙に暮れ、悲しみで眠れぬ夜を過ごした後は、必ず「朝と共に喜びが来る」ことを教えてください(詩篇30：5)。

喜びの訪れ

何年も前に、ブリガム・ヤング大学は、この時代の傑出した女性であるサラ・バグリー・シャムウェーを学長表彰し、その榮譽をたたえました。表彰状にはこのような言葉がありました。「永続する価値を持つ日常生活のドラマは、多くの場合家庭の中で、また家族の中で起きます。しかし、それらは往々にして見過ごされているのです。そのような、

**「父は小鳥や、
いろいろなこと
について話しながら
歩いてくれたので、
父の目が見えないこと
が実感できません
でした。父がわたしの
手を握るのは、ほかの
お父さんたちよりも
わたしをもっともっと
愛しているからだと
いつも思っていた
のです。」**

素朴ながらも重要な場所にいる人々こそ、今の世を安定させ、より良い未来を約束してくれます。劇や映画の台本、ニュース映像には収め切れないほどの状況に直面する彼らは、苦難と重苦しい気持ちに満ちた人生を送っています。しかし、そのような人々の人生における勝利は、たとえそれがどれほど小さくても、次世代の人々が通らなければならない道を強固にするのです。」

サラが「9年来の友人であり、恋人であった」H・スミス・シャムウェーと結婚したのは、1948年のことでした。二人が結婚するまで時間がかかったのは、第二次世界大戦中、歩兵部隊の将校として従軍していたシャムウェーが、フランスのパリへ進攻中に地雷で重傷を負い、視力を失ったからです。彼が長期のリハビリに取り組んでいる間、サラは二人だけで手紙がやり取りできるように、点字を勉強しました。愛する人に書いた自分の手紙をだれかが声に出して読むことなど我慢できなかったのです。

スミス・シャムウェーの単純で実直なプロポーズの言葉を聞いただけで、この二人のきずなが伝わってくる思いがします。戦後ようやく故郷のワイオミングに戻った彼は、サラにこう言ったのです。「君が車の運転と靴下の分類をして、手紙を読んでくれたら、あとはぼくがするよ。」サラは、この申し出を喜んで受け入れました。

何年も勉学に励んだ結果、仕事にも成功し、二人は8人の立派な子供と多くの孫に恵まれて奉仕の人生を歩んできました。しかし、シャムウェー夫妻は様々な問題を経験してきました。重い聴覚障害を持った子供や、伝道中に癌に冒された息子もいましたし、出生時に外傷を負った双子の孫娘もいました。

わたしたち家族は夏休みの家族キャンプで、勢ぞろいしたシャムウェー一家に会う機会がありました。一族全員が着ているTシャツには、全員の名前と住んでいる町を示した地図がプリントしてありました。シャムウェー兄弟は、シャツに書いてある愛する人々の名前の辺りを誇らしげに指さして、満面の笑みを浮かべていました。ちょうどそのとき、この兄弟は子供の顔も孫の顔も見ることがないのだという思いがわたしの頭をよぎりました。でも、ほんとうにそうでしょうか。実際、彼はその目で愛する人たちを見たことはありませんが、心は確かに彼らを知っていて、深く愛しているのです。

夜の娯楽の時間になって、シャムウェー家族は舞台上に上がりました。「目の見えない父親のいる家庭に育つというのは、どんなものですか」という質問に、娘の一人がほほ

えみながら答えました。「小さいころ、晩御飯のデザート
をたくさん食べるのはお父さんにはよくないと考えて、
時々お父さんの大きいデザートと自分たちの小さいのを
こっそり取り替えたことがありました。お父さんは気づい
ていたでしょうが、一度もしかったりしませんでした。」

また、もう一人の娘の話には感動しました。「5歳ぐら
いときだったと思います。父はわたしの手を取って、近所
によく散歩に連れて行ってくれました。父は小鳥や、いろ
いろなことについて話しながら歩いてくれたので、父の目
が見えないことが実感できませんでした。父がわたしの手
を握るのは、ほかのお父さんたちよりもわたしをもっと
もっと愛しているからだといつも思っていたのです。」

サラはすでにこの世を去りましたが、スミス・シャム
ウェー、サラ・シャムウェー夫妻、そしてその家族は、逆
境と悲しみを気にも留めずに、戦争の残した障害という悲
劇を克服して、人生のより高い道を勇敢に歩み続けている
良い模範と言えるでしょう。

詩人エラ・ウィーラー・ウィルコックスはこう書いています。

人生が歌のように流れているとき、
人はだれでも陽気でいられる。
しかし、何一つうまくいかないとき、
ほほえむことのできる人こそ、価値ある人。

なぜなら、心の試しは苦しく、
時とともに必ずだれにもやって来る。
そして人の誉れを受けるにふさわしいほほえみは、
涙の中で輝かせるほほえみ。¹

わたしは、ユタ州ウェストバリーシティーに住む、メ
リッサ・エンゲル姉妹の勇気を奮い立たせるような模範に
感動を覚えました。メリッサ姉妹については、1992年8月
号の『ニューエラ』(New Era) に特集されています。こ
れは彼女自身の言葉です。

「生まれたとき、わたしの右手には親指しかありません
でした。へその緒が指に固く巻き付き、〔切断されてし
まったのです。〕父は、右手を鍛えて使えるようにするた
めに何かできることはないか探してくれました。そして、
フルトのように両方の手の指を必要としない、バイオリ
ンを弾くのが最適だということになったのです。

バイオリンを弾き始めて、もう8年になります。個人
レッスンを受けているので、レッスン料の足しにするため



**メリッサは、
奨学金を受けて、
集中的に
訓練が受けられる
音楽キャンプに参加
することができました。
それは、彼女が
心から望んでいた
訓練の機会でした。
メリッサは
こう語っています。
「わたしにとって
それは奇跡でした。」**

に新聞配達などを行っています。
〔バイオリンの〕レッスンには
まちなか
町中を走るバスで通っていま
す。……

〔これまでの生涯の〕ハイラ
イトは、ミシガン州の湖畔にあ
るインターロッヘンで開かれ
た、世界で最も定評のある〔青
少年対象の〕音楽キャンプに参
加したときでした。このキャン
プでは、8週間の集中的な音楽
訓練が受けられます。願書を送
ってみると、信じられないこと
に合格したのです。

問題はお金でした。何千ドル
もかかるのです。支払い期限まで
にそれだけの金額を用意するの
は不可能でした。わたしは熱心
に祈り続けました。そして、払
い込み期限の1週間前になって、
芸術を勉強する障害者に奨学
金を送るという人に招かれ、面
接を受けたのです。わたしにと
ってそれは奇跡でした。心から
感謝しています。²

メリッサの母親はそれまで、娘
ががっかりするのを恐れて、あ
まり期待しすぎないようにメリ
ッサの気持ちを抑えようとして
いました。奨学金を受け取った
メリッサは、母親に向かって言
いました。「お母さん、天のお
父様は必ずお祈りにこたえて
くださるって、わたしが言った
とおりでしょ。ほら、わたし
のお祈りには、こんなふう
にこたえてくださったわ。」

地に落ちるスズメにお気づきになる天の御父は、子供の祈りにこたえて、夢をかなえてくださったのです。メリッサは大学に進み、学位を取得した後、クロアチアで専任宣教師として奉仕しました。

貴い約束

静かに病に耐えてきた皆さん、そして身体的、精神的な障害を持つ人を世話してきた皆さん、日ごと、年ごと黙々と重荷を負い続けている皆さん、そしてすばらしい母親、献身的な父親である皆さんに申し上げます。皆さんに心からの賛辞を送り、神の恵みがいつも皆さんとともにあるよう祈ります。そして子供たち、特に走り回って遊ぶことのできない子供たちには、次のような元気の出る言葉を送りたいと思います。「愛する子供たちよ、神はあなたの近くにおられ、昼も夜もあなたを見守っておられます。」³

モルモン書にある貴い約束が成就する復活の日には必ず来るのです。

「霊は体に回復され、体は霊に回復される。そして、手足と関節はことごとくその体に回復される。まことに、髪の毛一筋さえも失われることなく、すべてのものが本来の完全な造りに回復される。……

そのとき、義人は神の王国で輝きを放つ。」(アルマ40：23, 25)

詩篇にも次の約束が記されています。

「わが助けは、天と地を造られた主から来る。……

……あなたを守る者はまどろむことがない。

見よ、イスラエルを守る者はまどろむこともなく、眠ることもない。」(詩篇121：2-4)

末日聖徒は長年にわたって、次の慣れ親しんだ賛美歌に慰められてきました。

この世の嵐にもまれ
希望の失せしときには
かつて受けし主の恵み
数えてみなば驚かん……

苦しみの荷を背負うか
十字架汝れに重きか
恵み数えみて、日々を
疑いはらしてうたわん……

いかなる苦と戦うとも

たわむなかれ、神在ます
み恵み数えよ天使は
汝が旅を守りたまわん⁴

皆さんの中に、胸の痛みと悲しさに耐えかねて、無言のうちに「天のお父様、ほんとうにいらっしゃるのですか。……わたしたちの祈りに皆こたえてくださるのですか」⁵と尋ねる人がいるなら、確かに神はおられると証します。神は確かに一つ一つの祈りを聞き、おこたえになるのです。神の独り子キリストは、この世の獄の縄目を解き放ってくださいます。天の祝福は皆さんを待っているのです。■

注

1. "Worth While," *The Best Loved Poems of the American People*, ヘーゼル・フェレマン選(1936年), 144
2. "Something You Really Love," *New Era*, 1992年8月号, 30-31
3. "Dearest Children, God Is Near You" 『賛美歌』[英文], 96番
4. 「み恵み数えあげ」『賛美歌』153番
5. 「子供のいのり」『子供の歌集』6-7, (英文から逐語訳)

ホームティーチャーへの提案

よく祈って準備した後、あなたが教える人々の参加を促すような方法を用いて、このメッセージを分かち合ってください。幾つかの例を以下に紹介します。

1. 担当家族に、家族または知人の中で霊的な癒しを受けた人、また怒りや落胆、過去の心の傷を取り去ることができた人がいるか尋ねる。イエス・キリストを信じる信仰は、このような癒しをどのように得させてくれるか話し合う。苦痛にあえぐ人々が直ちに癒されなかったとしても、主は彼らをどのように心にかけ、祝福を注いでくださるのだろうか。

2. このメッセージに登場する若いバイオリン奏者のように、障害となり得る肉体的な弱点を持ちながらもそれらを克服した人々を知っているか家族に尋ねる。このような癒しに対するイエス・キリストを信じる信仰の役割について話し合う。

3. 天の御父の子供たちの中には、この世では取り除かれないかもしれない肉体的、知的、精神的、情緒的な重荷を背負っている人々がいる。そのような個人、およびその家族の重荷を軽くする助けとなるために、周りの人々には何ができるだろうか。

書/章	モーサヤ28-29章	アルマ1-44章			
記録者	モルモン	モルモン			
さばきつかさの統治			2	5	7
年代 (推定も含む)	紀元前92	91	90	87	85

モルモン書

早見表

ニーファイ人

●モーサヤ王は息子らにレーマン人に福音を宣べ伝える許可を与える。息子たちは約14年に及び伝道に旅立つ(モーサヤ28:1-9参照)。

●民がさばきつかさの統治を基準に年を数え始める。アルマとモーサヤ王が死亡する(モーサヤ29:44-47; アルマ1:1参照)。

●ニーホル(偽善売教をしたことを認めた偽りの祭司)が罪のため処刑される。内部抗争と不信者による迫害にもかかわらず、教会が発展する(アルマ1章参照)。

●アマリサイは王になろうとするが民の声によって拒絶される。内紛が起こり、アマリサイと支持者が敗れる(アルマ2:1-19参照)。

●主の力を得たニーファイ人が二つの大きな戦いでレーマン人を破る(アルマ2:27-3:27参照)。

レーマン人

●モーサヤの息子たちがレーマン人の地で別れる。アンモンはイシマエルの地へ、アロンはエルサレムの町へ行く(アルマ17:6-19; 21:1-2参照)。

●アマリサイ人と連合したレーマン人がニーファイ人に戦いを挑む(アルマ2:20-26参照)。

アンタイ・ニーファイ・リーハイ人

●アンモンがラモーナイ王の僕となる。王が奇跡的に改宗し、王の民も大勢バプテスマを受けて教会が確立する(アルマ17:20-19:36; 21:18-23参照)。

改宗したレーマン人が自らをアンタイ・ニーファイ・リーハイ人と呼び、ニーファイ人と親しく交わる(アルマ23章参照)。

●アロンと同僚たちの伝道は成功せず、投獄される(アルマ21:1-14参照)。



●アンモンとラモーナイ王がラモーナイ王の父に会う(父王はレーマン人の全地を支配していた)。アロンと同僚たちが牢から助け出される(アルマ20章; 21:14-17参照)。

●アロンがラモーナイの父に福音を教える。父王は奇跡的に改宗し、信教の自由を宣言する(アルマ22章-23:3参照)。

イエス・キリストに関するおもな教え

息子アルマは民に、霊的に神から生まれているかと尋ねる(アルマ5章参照)。



福音の原則に関する声明 (14ページの表を参照)

1 3 5 7 9
2 4 6 8

聖書の書

左から—「ラモーナイ王の前のアンモン」ゲリー・L・カップ画、デビッド・ラーセン夫妻の厚意により掲載、複製は禁じられています。「ラモーナイの父との面会」ミネルバ・K・タイカート画、複製は禁じられています。「地獄」ミネルバ・K・タイカート画、複製は禁じられています。「牢獄の中のアルマとアミュレク」ゲリー・L・カップ画、複製は禁じられています。

10
82

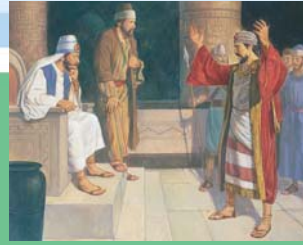
12
80

15
77

18
74

●ニーファイ人は繁栄し、高慢になり始める。息子アルマは神の言葉を宣べ伝えるために大さばきつかさを退く(アルマ4:6-20参照)。

ニーファイ人は非常に多くのレーマン人(アンタイ・ニーファイ・リーハイ人)の改宗を喜び、ジェルシヨンの地を与える(アルマ27:20-24参照)。



●改宗したゾーラム人がジェルシヨンの地にいるアンモンの民に合流する(アルマ35:1-9参照)。

●息子アルマはアモナイハの町で拒まれるが、町に戻るようには天使の命令を受ける。アミュレクがアルマに宿を提供する(アルマ8章参照)。

反キリストの^{しよくざい}コリホルがキリストと贖罪と預言の霊をあざける。●神に打たれて物が言えなくなり、死ぬ(アルマ30章参照)。



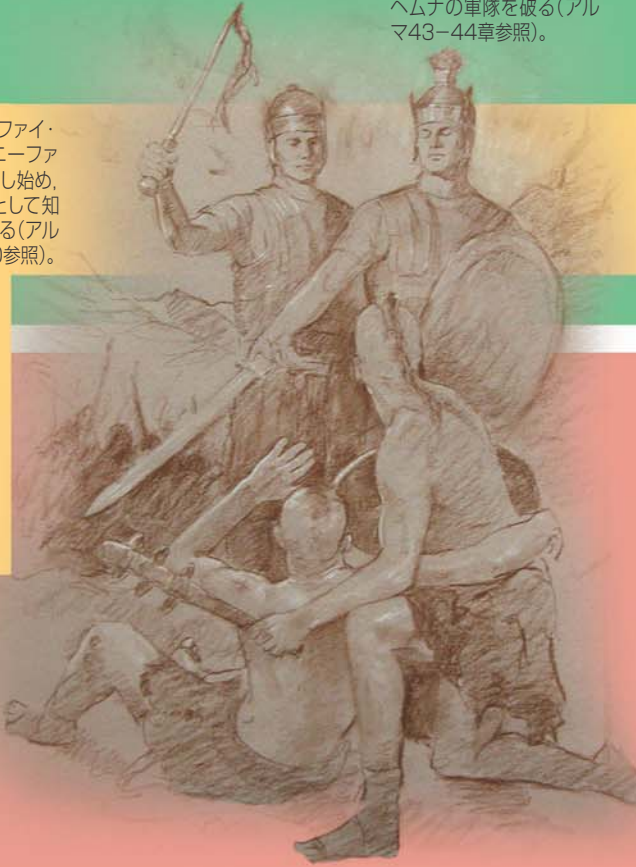
●息子アルマが神に背いているゾーラム人を改心させるため先頭に立って伝道する。その中で多くの貧しい者たちが改宗する(アルマ31-34章参照)。

●モロナイを司令官とするニーファイ人の軍隊がゼラヘムナの軍隊を破る(アルマ43-44章参照)。

●息子アルマとアミュレクが投獄されるが、奇跡的に解放される(アルマ14章参照)。

●ニーファイ人の司令官ゾーラムが身の毛もよだつような戦いでレーマン人を破る。アピナダイの預言が成就する(アルマ16:4-11;25:3-12参照)。

●アンタイ・ニーファイ・リーハイ人がニーファイ人の中で暮らし始め、アンモンの民として知られるようになる(アルマ27:25-30参照)。



●アンタイ・ニーファイ・リーハイ人が武器を埋め、二度と人の命を滅ぼさないと聖約する(アルマ24:1-19参照)。

●1,005人のアンタイ・ニーファイ・リーハイ人が抵抗することなく殺される。その勇敢な行為に心を動かされ、殺された数より多くのレーマン人が改宗して戦争が終わる(アルマ24:21-30;25:1参照)。

●身の危険にさらされたアンモンとアンタイ・ニーファイ・リーハイ人がニーファイ人に保護を求めるといふ決断を下す(アルマ27:1-15参照)。

●レーマン人の中に、アンタイ・ニーファイ・リーハイ人に戦いを仕掛ける者が出る(アルマ24:20参照)。



●レーマン人がニーファイ人に戦いを起こす。両軍に何万人もの死者が出る(アルマ28章参照)。

●レーマン人がニーファイ人に戦いを起こし、アモナイハの町を滅ぼす(アルマ16:1-3;25:2参照)。

●レーマン人の改宗が続く。アンモンがレーマン人への伝道の成功について主をほめたたえる(アルマ25:13-26;37参照)。

●邪悪なゾーラム人とレーマン人が連合してニーファイ人と戦う(アルマ35:10-13参照)。

●息子アルマがキリストと、キリストの贖いについて預言する(アルマ7章参照)。



●息子アルマは主の安息に入ることに教える(アルマ12-13章参照)。



●息子アルマは信仰を得る方法を教える(アルマ32-33章参照)。



●アミュレクは大いなる最後の犠牲の必要性を説明する(アルマ34章参照)。



●息子アルマが息子たちに、自身の改宗談を話して聞かせる(アルマ36-42章参照)。



11 13 15 17 19 21 23 25
10 12 14 16 18 20 22 24

26 27

28 29

30 31

33 35 37 39 41 43 45 47
32 34 36 38 40 42 44 46 48

書 アルマ45-63章

記録者 モルモン

さばきつかさ	19	20	26	27	28	29
年代	紀元前73	72	66	65	64	63

ニーファイ人

- アマリキヤが王になるうとたくらむ。司令官モロナイは自由の旗を掲げ、アマリキヤはレーマン人のもとへ逃げ込む(アルマ45:20-46:41参照)。

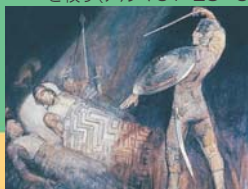
- 息子アルマが御霊によって取り上げられる(アルマ45:1-19参照)。

- 平和な間に司令官モロナイとヒラマンは戦いのために民を備える(アルマ48:7-25参照)。

- ニーファイ人の離反者モリアントンによる論争が原因で内紛が起こる。司令官モロナイとテアングムが武力で暴動を止める。パホーランがさばきつかさになる(アルマ50:25-40参照)。

- 王政党の者たちが法律を変え王を立てようとして紛争が起こる。司令官モロナイは反乱を速やかに収める(アルマ51:1-21参照)。

- テアングムがアマリキヤの北方侵略を阻止し、寝ているアマリキヤを殺す(アルマ51:28-37参照)。



- ニーファイ人がミュレクの町を取り返す(アルマ52:4-40参照)。

- 西部の町、アンテバラが再度奪われる。驚くべきことに、2,000人の若い兵士の中に命を落とした者はいなかった(アルマ56:11-57:5参照)。

- 西部の町クメナイがヒラマンの軍隊に降伏する。レーマン人の軍がその町を奪回しようとするが、大きな戦いで敗れる。この度もヒラマンの若い勇者はだれも殺されなかった(アルマ57:6-36参照)。

- 司令官モロナイは捕虜の交換を拒否する。彼の軍は東方の町ギドを取り返し、血を流さずにニーファイ人捕虜を解放する(アルマ55章参照)。



アンタイ・ニーファイ・リーハイ人

- ヒラマンは2,000人の若い兵士を率いて西の前線を守る(アルマ53:10-23;56:2-10参照)。

レーマン人

- アマリキヤは再度ニーファイ人を攻撃し、東海岸沿いの多くの町を占領する(アルマ51:22-27参照)。



- アマリキヤの兄弟アモロンが王となる。レーマン人はミュレクの町に退く(アルマ52:2-3参照)。

- アモロンは西の海岸地方を攻撃して多くの町を占領する(アルマ53:8-9;56:12-15参照)。

- アモロンは司令官モロナイに手紙を送り、捕虜の交換を要求する(アルマ54章参照)。

- アマリキヤはレーマン人の王を殺して王位に就き、民を戦争に駆り立てる(アルマ47:1-48:6参照)。

- レーマン人の大軍がニーファイ人を攻撃するが、ノアの町の激戦で敗れる(アルマ49章参照)。

イエス・キリストに関するおもな教え

福音の原則
(14ページの表を参照)

49 50

51

聖書の書

●司令官モロナイはパホーランへ書き送った手紙の中で、より支援を求めて怒りを表す。パホーランは返書の中で、ゼラヘムラの王政党による謀反を鎮圧するために軍隊の助けを要請する(アルマ53:8-9;60-61章参照)。

●司令官モロナイはヒラマンの軍に助けを送り、兵を集めてパホーランと合流し、王政党の反乱を鎮める(アルマ62:1-12参照)。

●司令官モロナイとパホーランが東の町ニーファイハを取り返す。レーマン人はその土地から追い出される(アルマ62:14-42参照)。



●司令官モロナイは引退し、ヒラマンは伝道に戻る。民は繁栄し、義にかなった生活を送る(アルマ62:43-52参照)。



●多くのニーファイ人が北方の地へ旅立つ。ハゴスが大勢の人を伴い西の海へ船を出す。ヒラマンの息子ヒラマンは神聖な記録を譲り受ける(アルマ63:1-13参照)。

●パホーランの息子パホーランが大さばきつかさを選出されるが、キシクメンに殺される。パクメナイが大さばきつかさに選ばれる(ヒラマン1:1-13参照)。



モロナイハが占領された土地の半分を取り戻す。しかし、霊的に弱いニーファイ人は悪事のためにしばしば打ち負かされる(ヒラマン4:9-26参照)。

●ニーファイが大さばきつかさを辞任し、弟リーハイとともに、ニーファイ人とレーマン人に悔い改めを宣べ伝える(ヒラマン5:1-19参照)。

ガデアントンの強盗団

●キシクメンはヒラマンを暗殺しようとするが失敗する。ガデアントンの秘密結社は荒野に逃れる(ヒラマン2:3-14参照)。



●レーマン人は東の町ニーファイハを征服する(アルマ59章参照)。

●離反したニーファイ人に扇動されたレーマン人がニーファイ人に対し戦争を起こすが、司令官モロナイの息子モロナイハに敗れる(アルマ63:14-17参照)。

●ニーファイ人の離反者コリアンタマーがレーマン人を率いてニーファイ人に戦いを起こし、ゼラヘムラの町を占領する。モロナイハは彼を取り囲み、打ち倒す(ヒラマン1:14-34参照)。

●レーマン人とニーファイ人の離反者がニーファイ人の多くの土地を奪う(ヒラマン4:5-8参照)。

書	ヒラマン5-16章	3ニーファイ1-30章
記録者	モルモン	モルモン
さばきつかさ	63 69	86 91
年代	紀元前29 23	6 A.D. 1
	▲ ▲	▲ ▲
		30 34
		▲ ▲

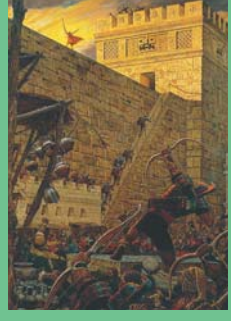
ニーファイ人

ガデアントンの強盗団の脅威が高まり、ニーファイは悔い改めなければ滅びると民に告げる。ニーファイは大さばきつかさが殺されたことを告げ、殺人者を暴く(ヒラマン7-9章参照)。

主はニーファイに結び固め、力を授けられる。ニーファイは飢饉があるように主に願う。民は悔い改め、短期間平和が戻る(ヒラマン10:1-11:23参照)。

レーマン人サムエルがニーファイ人の滅亡と、キリストの降誕と死のしるしを預言する(ヒラマン13-16章参照)。

●ニーファイ人は再び高慢で邪悪になる(ヒラマン11:36-38参照)。



●ニーファイの息子ニーファイが聖なる記録を譲り受ける。キリスト降誕のしるしが現れ、民はこの時を起点に年代を数え始める。多くが悔い改め、バプテスマを受ける(3ニーファイ1:1-26;2:5-8参照)。

●サタンは多くの民を誘惑してキリスト降誕のしるしを忘れさせたり、否定させたりする(3ニーファイ2:1-4参照)。

●ニーファイ人と改宗したレーマン人は一つの民となり、自らをニーファイ人と呼ぶ(3ニーファイ2:14-19参照)。

●総督ラコーニアスと軍の総司令官ギドゴドーナイは強盗団を滅ぼす戦いに勝利する。民は罪を捨てて神に仕える(3ニーファイ3-5章参照)。

●腐敗した指導者がひそかに預言者たちを殺し、政府を奪い取る。民が部族に分裂し、政府は滅びる。ニーファイは大胆に悔い改めを説くが、主に帰依した者はほとんどいなかった(3ニーファイ6-7章参照)。

●キリストの死のしるしが現れる。多くの町と人が滅ぼされる(3ニーファイ8章参照)。

●イエス・キリストが天から現れて福音を教えらる。主は権能を与えて教会を組織し、天に昇られる(3ニーファイ9-18章参照)。

●イエス・キリストは再び現れて民に教えを授け、天に昇られる。主の弟子たちが教え導き、主の名によってバプテスマを施す(3ニーファイ19-26章参照)。

●イエス・キリストは弟子たちに御自身を現し、主の教会と福音について教えらる。3人の弟子は主の再臨まで地上にとどまると約束され、身を変えられる(3ニーファイ27-28章参照)。

ガデアントンの強盗団

●ガデアントンの強盗団はニーファイ人をそそのかし墮落させ殺人を犯させる。レーマン人は強盗団を支援することを拒否する(ヒラマン6:15-41参照)。

●新しいガデアントンの強盗団はニーファイ人とレーマン人にひどい荒廃をもたらす(ヒラマン11:24-27参照)。

●ガデアントンの強盗団の数が非常に増えて強大となり、すべての民の安全と権利を脅かす(3ニーファイ2:11-13参照)。

レーマン人

●ニーファイとリーハイがレーマン人に投獄されるが、奇跡的な方法で救い出される。一つの声が民に悔い改めるように命じ多くの民が改宗する(ヒラマン5:20-52参照)。



●レーマン人は確固として堅固な信仰を持つ(ヒラマン13:1;15:4-10参照)。

●レーマン人の宣教師がニーファイ人に遣わされる。二つの民が平和と繁栄、霊的な力を享受する(ヒラマン6:1-14参照)。

イエス・キリストに関するおもな教え

●レーマン人サムエルがキリストの降誕と死のしるしを預言する(ヒラマン14章参照)。



●イエス・キリストがニーファイ人に福音を教えらる(3ニーファイ11-18章参照)。



●イエス・キリストはすべてのことについて説き明かされる(3ニーファイ19-26章参照)。



福音の原則

(14ページの表を参照)

55	56	57	58	59	60	61	62	63	64	65	66
----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----

聖書の書

新約聖書の福音書と手紙

左から—「牢獄の中のニーファイとリーハイ」ゲーリー・L・カップ画、複製は禁じられています。「預言するレーマン人サムエル」アーノルド・フライバーク画。絵／ジェリー・トンプソン。「西半球に御姿を現されるキリスト」アーノルド・フライバーク画。「アメリカを訪れたイエス・キリスト」ジョン・スコット画。「あなたがたがいつもわたしを覚えていられるように」ゲーリー・L・カップ画、デビッド・ラーセン夫妻の厚意により掲載、複製は禁じられています。「記録を持って来なさい」ロバート・T・バレット画。「3人のニーファイ人」ゲーリー・L・カップ画。

35

231

321

400

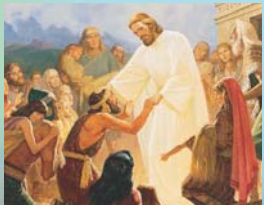
1823-1830

一つの民

●すべてのニーファイ人とレーマン人がキリストの教会に所属する。民はすべてのものを共有し、平和と喜びのうちに暮らし、民の中に悪事はまったくなかった(4ニーファイ1:1-23参照)。

●甚だしい高慢と罪悪が国中に広がる。偽りの教会が多く起こり、聖徒たちは迫害を受ける(4ニーファイ1:24-34参照)。

●キリストの真の信者であるニーファイ人と、福音を拒否するレーマン人の二つに民が分裂する(4ニーファイ1:35-41参照)。



ニーファイ人

●ニーファイ(救い主の弟子の一人)のひ孫アマロンが神聖な記録を隠す(4ニーファイ1:47-49参照)。

●アマロンはモルモンに神聖な記録について指示を与える(モルモン1章参照)。

●軍の指揮官であり霊的指導者であったモルモンが民を率いてレーマン人との多くの戦いに勝利する(モルモン2:1-3:16参照)。

●モルモンは24歳で神聖な記録を譲り受ける(モルモン1:2-4;2:17参照)。

●モルモンは民の約1,000年にわたる歴史を短くまとめる(モルモンの言葉1:3-5, 9-11;モルモン3:17-4:23参照)。

●モルモンは民を率いて最後の戦いに臨む。モルモンは神聖な記録を息子のモロナイに渡した後に死ぬ。ニーファイ人の国が滅亡する(モルモン5章-8:6参照)。

ガデアントンの強盗団

●新しいガデアントンの強盗団は民の支持を受け、全地に広がる(4ニーファイ1:42-46参照)。

レーマン人

●モロナイは父の記録を書き上げ、ヤレドの民の記録を要約し、モロナイ書を書く。記録を隠す(モルモン8-9章;モロナイ書参照)。



●イエス・キリストは弟子たちに福音の上に教会を建てるように命じられる(3ニーファイ27章参照)。

●モルモンは、すべての幼い子供はキリストにあって生きていくと書く(モロナイ8章参照)。



●モロナイはすべての人に、キリストのもとに来てキリストにあって完全になるようにと勧める(モロナイ10章参照)。

モルモン書の早見表

福音の原則に関する声明

参照箇所	原則
1 アルマ1:25-30	激しい迫害を受けながらも、引き続き平和を保つことができる。
2 アルマ17:2-3	聖文の探求と熱心な断食と祈りは、生活に聖霊の祝福をもたらす。
3 アルマ17:11	困難な状況に忍耐強くあれば、模範を示し、主の手に使われる者となる。
4 アルマ17:25:18-17	仕えたいという望みは、福音を教える際に重要である。
5 アルマ18:9-10	仕えるときは、立派な働きをすべきである。
6 アルマ18:16, 34	神の御霊に満たされるときにだけ、力強く教えることができる。
7 アルマ18:40-41; 19:6	信じて悔い改め、憐れみを求めて主に叫び求める者は光に満たされる。
8 アルマ19:36	主の腕は、悔い改めて主の名を信じるすべての人に伸べられる。
9 アルマ3:19	人が愚かな選択をしたときのみ、神はその結果として罪の宣告をされる。
10 アルマ4:19:31:5	神の言葉を宣べ伝えることにより、民の高慢と悪巧み、争いを取り除くことができる。
11 アルマ5:7-9	人の心は永遠の言葉によって照らされ、地獄の鎖から解かれることができる。
12 アルマ5:11-14	生ける神を信じ、預言者の言葉を信じることによって、心に大きな変化が生じ、顔に神の面影を受け、神から生まれることができる。
13 アルマ5:21-25	神の王国に救われるのは、キリストの血によって罪の汚れが清められるときだけである。
14 アルマ5:33-60	良い羊飼いの羊でいられるのは、神の声を聞くときだけである。
15 アルマ5:61-62	預言者がしばしばするように、アルマは教会の会員に対しては命令として、他の民に対しては勸奨として話した。
16 アルマ7:7-13	イエス・キリストの降誕、務め、贖いの犠牲、復活はきわめて重要である。
17 アルマ7:14-16	救い主を信じ、悔い改めのバプテスマを受け、罪から洗い清められ、再び生まれ、たやすくまとわりつく罪を捨て、神の戒めを守るとき、永遠の命を受ける。
18 アルマ7:23	キリストに従う者は、謙遜、従順、素直であり、容易に勧告に従い、忍耐と寛容に富み、自制し、熱心で、よく祈り、よく感謝する。
19 アルマ9:23:24:30	神に背いていると知りながら罪を犯す者は、神について知らない者より悪い状態にいる。
20 アルマ11:37-46; 12:19	キリストと、キリストの贖いと裁きについての教えや証を聞くと、民は罪を認めたり、ひどく驚いたりすることがある。
21 アルマ12:9-11	神の奥義や、さらに多くの神の言葉は、神に寄せる注意力と熱意の度合いに応じて与えられる。
22 アルマ12:30-32	神は最初に贖いの計画を明らかにし、その後で戒めを与えられた。
23 アルマ13:1-13	人が信仰、悔い改め、義によって神の平安に入ることができるように、神は神の聖なる神権に従って召された人々を通して教えられる。
24 アルマ14:11; 60:13	主は悪人が義人を滅ぼすことを許されることがある。主の裁きは公正である。
25 アルマ15:3-11	自分の罪を認めることで心と体に激しい苦痛が生じ、信仰と悔い改めに駆り立てられることがある。
26 アルマ24:27	主は民を救うために様々な方法で働かれる。
27 アルマ26:11-12	主の力によって、大いなる義をもたらすことができる。
28 アルマ27:18	心から悔いて謙遜に幸福を求める者には、非常な喜びが与えられる。
29 アルマ28:13-14	罪によって人々に大きな差異が生じる。主のために働く者たちは、この差異を正す助けをする。
30 アルマ29:4-5	望みが善であろうと悪であろうと、神はその望むものを与えてくださる。
31 アルマ29:6-9	神が召された自分の務めを果たすことを望むべきである。
32 アルマ30:40-44	万物は神がましますことを示している。
33 アルマ30:60	悪魔は終わりの日に自分の子らを助けようとしぬ。
34 アルマ31:38	主は義人に力を与えられ、苦難はのまれる。
35 アルマ32:13-16	やむを得ず謙遜になる人は祝福を受ける。神の言葉のために謙遜な人はさらに祝福を受ける。
36 アルマ32:21	信仰とは完全な知識ではなく、まだ見ていない真実に対する希望である。
37 アルマ32:27-43	証は、信仰を動かせることによって、あるいは神の言葉を試す(すなわち神の言葉に従う)ことによって得られる。

参照箇所	原則
38 アルマ33章	聖文を探求し、祈り、御子を信じることは、証を強める方法である。
39 アルマ34:27-29	わたしたちに求められているのは、乏しい者のために祈るだけでなく、彼らを見舞い、持ち物を分け与えることである。
40 アルマ34:32-35	現世の生涯は神に会う用意をする時期である。
41 アルマ36:3	神を信頼する人は試練や苦難に遭うとき助けを受ける。
42 アルマ36:17-19	自らの悔い改めと救い主の憐れみによって、罪の苦しみから解放され、罪を思い出して苦しむことはなくなる。
43 アルマ37:6	小さな、簡単なことによって大いなることが成し遂げられることがある。
44 アルマ37:37	すべてのことについて主と相談するとき、主は道を示してください。
45 アルマ38:12	すべての激情を制するときに、愛に満たされる。
46 アルマ39:13	悪い行いを見せ人を道に迷わせたときは、その人のところへ戻り、自分の過ちと悪事を認めなければならない。
47 アルマ40:6, 11-14	すべての人は死ぬと霊界に入る。義人はパラダイスに入り、悪人は外の暗闇に追い出される。
48 アルマ41:10	悪事が幸福な結果をもたらすことは決してない。
49 アルマ45-47章; 46:12	国や国家、教会を守ること、権利や自由を保つこと、さらに、そのような理想を持つ人々を支援すること、これらは戦争の正当な理由と認められる。
50 アルマ48:14-16	人を怒らせたり戦争を仕掛けたりすべきではないが、主の命令によって自らを守ることは正当な行為である。
51 アルマ53:8-9	内部に不和や罪悪があると、敵に支配されるようになる。
52 アルマ60:23	ます器の内側を清め、その後器の外側を清めなければならない。
53 ヒラマン4:24-26	罪を犯すと御霊は失われ、人は弱くなる。
54 ヒラマン5:12	贖い主の岩の上に築くとき、どのような力も人を不幸の淵と永遠の悲しみに引きずり込むことはできない。
55 ヒラマン5:3	主は愛される者を懲らしめられる。
56 3ニーファイ7:15-22	しるしや奇跡は、信仰や改心の基盤として不十分である。
57 3ニーファイ11:29	争いの心は悪魔に属する。
58 3ニーファイ12:1-2	謙遜で信仰があり、水のバプテスマを受け、聖霊の清めの力を受けた者は、罪の赦しを受ける。
59 3ニーファイ12:23-24	キリストのもとに行くことを望むならば、まず人と和解しなければならない。
60 3ニーファイ13:14-15	人を赦すならば、神は赦してください。
61 3ニーファイ13:19-21	永遠に滅びない天の宝に心を向け、それを探し求めなさい。
62 3ニーファイ13:33	まず神の王国と神の義を求めなさい。
63 3ニーファイ14:24-27	キリストの教えに従うなら、人生の嵐に襲われても倒れることはない。
64 3ニーファイ18:32	悔い改めていない民を教え導き続ける義務がある。
65 3ニーファイ26:6-10	モルモン書を信じるなら、神はさらに偉大なことを明らかにしてください。
66 3ニーファイ27:10	教会が主の名で呼ばれ、主の福音の上に築かれているなら、御父は教会の中で御自分の業を示される。
67 4ニーファイ1:15-16	神の愛が心にあるときには分裂や罪悪はなく、民は神の子供となり、神の王国を受け継ぐ者となる。
68 モロナイ6:4	教会員は、正しい道にとどまっていられるように神の善い言葉で養われなければならない。
69 モロナイ7:6-10	惜しみながら、真心の伴わないささげ物をして、義とは認められない。
70 モロナイ7:16-17	善を行い神を愛するように勤めるものはすべて神から出ている。
71 モロナイ7:40-48	悪を行うように勤めるものはすべて悪魔から出ている。
72 モロナイ8:8-22	キリストへの信仰、希望、慈愛は、神の王国に救われるために欠かせない。
73 モロナイ10:3-5	幼い子供はキリストの贖いを通して救われており、バプテスマを受ける必要はない。
74 モロナイ10:32-33	主の憐れみを覚え、モルモン書を読んで深く考えて祈るとき、この聖文が真実であることを聖霊が明らかにしてください。
75 モロナイ10:32-33	キリストのもとに来て主によって完全になり、神の御心に添わないあらゆるものを拒み、神を愛するとき、神の恵みはわたしたちを聖めるのに十分となる。

波を 起こせ

小石でさえ、池に落ちれば果てしない波紋を生みます。
あなたの選択の影響も、永遠に波及するのです。
義を選んで、大きな波を起こしましょう。
(3ニーファイ12:14-16参照)



すべては 善し



十二使徒定員会

デビッド・B・ヘイト

「恐れず来たれ、聖徒」(『賛美歌』17番)に初めて深い感銘を覚えたのは、故郷であるアイダホ州南部にあった小さな石造りのタバナクルにおいてでした。1880年代後半に地元の教会員が溶岩石を使って建設したタバナクルの中には、今日のような説教台があり、後ろには、テンプルスクウェアのものよりは小さいのですが、同じように美しいパイプオルガンがありました。その小さなタバナクルの中でウィリアム・クレイトン作詞の「恐れず来たれ、聖徒」を歌うと、まるで屋根が持ち上がるのではないかと思うほど、この歌が持つ精神と力を感じました。歌う会員たちの信仰、証、力強さがそう感じさせたのです。

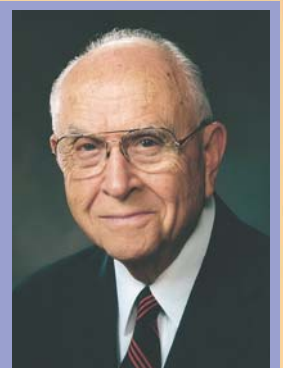
ウィリアム・クレイトンの父親は教師であったため、ウィリアムは立派な教育を受けました。美しい文字を書き、計算が得意であるばかりか、文章を書いたり、記録をつけたりする能力にも秀でていました。ウィリアムは教会がイギリスに設立されて間もないころ、ヒーバー・C・キンボールが率いる宣教師のグループから福音を学び、バプテスマを受けました。ウィリアムが教養豊かで達筆でもあったことを知った宣

教師たちは、彼が教会員になったことを喜びました。間もなく、当時23歳の聡明な青年だった彼は、イギリスに組織された小さな教会で、書記、筆記者、簿記係として活躍するようになります。

ノーブーへ移住することを望んだウィリアムとその妻は、船でアメリカへ渡りました。ノーブーでは預言者ジョセフ・スミスをはじめ、教会の指導者たちに会いました。ウィリアムが美しく正確な文字を書いたため、指導者たちは彼の才能を特別な方法で生かしました。そのような才能を持つ青年には、してもらうことがたくさんあったのです。

全力を尽くすなら——すべては善し

預言者が殉教した後、ウィリアムはブリガム・ヤングが率いた一行とともにノーブーを去りました。出発は2月で、アイオワ州に差しかったときには4月になっていました。雨でぬかるむアイオワの平原を、荷車を引く牛馬とともに歩きました。皆、意気消沈していました。はかどらない旅の中、命を落とす人もいれば、新たな命の誕生もありました。旅はゆっくりと



聖徒たちは意気消沈して
いました。
はかどらない旅の中、
命を落とす人も
いました。
そのような状況で、
ウィリアム・クレイトンは
「恐れず来たれ、聖徒
進み行けよ」と
書きました。

「恐れず来たれ、聖徒」(『賛美歌』17番)の歌詞を引用しています。ペンで書かれた文字のイメージを表現しています。

したもので、1日に進む距離はわずか数マイルでした。

そのような状況でウィリアム・クレイトンはこう書きました。「恐れず来たれ、聖徒」旅は困難で、聖徒たちは落胆していました。しかしクレイトンは次の歌詞の中で、状況は改善されるので前進するよう励ましたのです。「進み行けよ。その旅は辛くとも 恵みあらん。」

そして、次の美しい一文を記します。「見いだせ神の国を西へ遠く。」今はぬかるみに足を取られて気が沈んでいても、やがて状況は変わります。勇気と信仰があれば、主は祈りにこたえてくださいます。すべてが実を結ぶのです。一行はこの歌詞から希望と励ましを得ました。「見いだせ神の国を……遠く。聖徒を悩ますもの そこにあらず。」何と感動的で靈感に満ちた言葉でしょうか。

そして最後の節です。「旅を終わらず死すも すべては善し。」たとえ命を落とすことになっても、全力を尽くしてきました。当然のことながら、人は皆いつか死を迎えます。ですから「すべては善し」と言えるのです。

「もし生きて 休む聖徒らを見れば。」荷車や手車の車輪が外れていないことを確認しながら、祈りを通して勇気と強さを持ち続けるなら、目的地にたどり着くことができるでしょう。「もし生きて 休む聖徒らを見れば。」目的地に到着することができるならば、すなわち勇気を持ち続けて目的地に到着できたならば、そのときは、「すべては善し」なのです。

正しい生活を送るなら——すべては善し

ウィリアム・クレイトンは日記にこう記しています。「新しい歌を書き上げた。題名は『すべては善し』だ。」(William Clayton's Journal [1921年], 19) わたしは「すべては善し! すべては善し!」と付けられたこの最初の題名が好きです。それはわたしたちが送るべき正しい生活のことを表しているからです。原則と方法と知識が与えられているわたしたちは、目的地に到着した後も命が与えられているならば、「すべては善し! すべては善し!」と歌うことができるのです。この賛美歌は教会の「国歌」となっています。

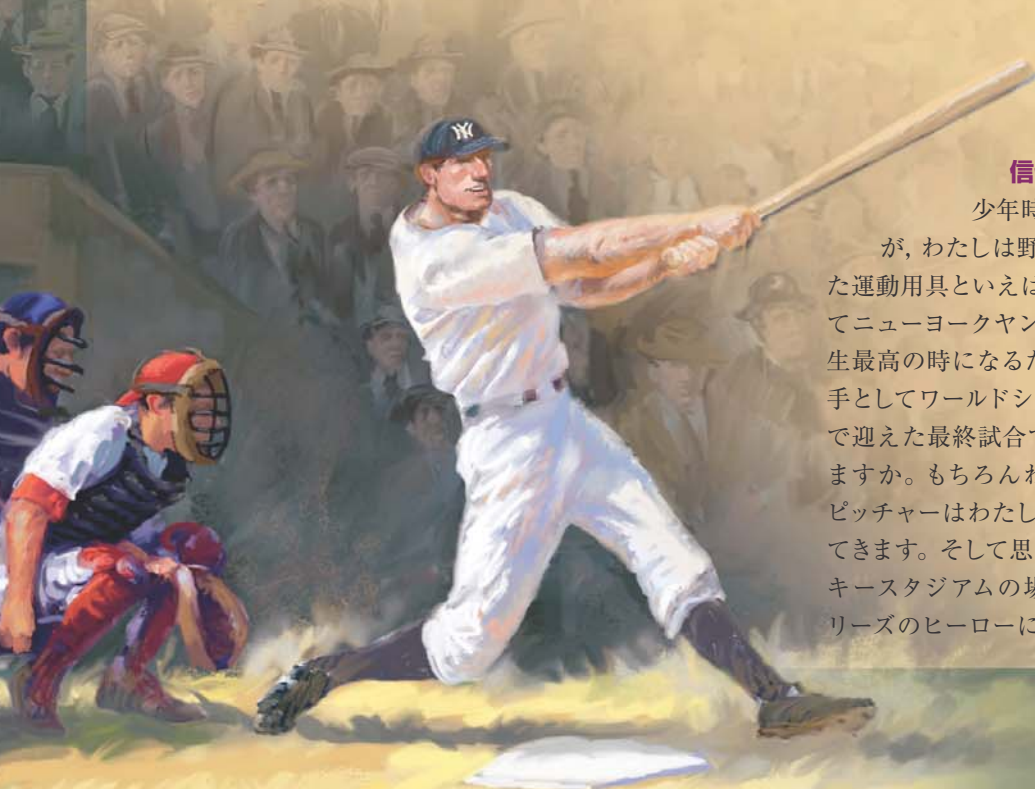
祖父のホートン・デビッド・ヘイトは、ブリガム・ヤングが率いた一行に続く第2陣の開拓者隊とともにこの盆地に到着したとき15歳でした。当然のことながら、祖父は大平原を徒歩で横断したことでしょう。ですから、「信じ、進まん」を歌うときに、わたしは信仰を込めて一歩ずつ歩いた祖父のことを思います。15歳の若者が荷車に乗ることはできませんでした。義務を果たし、馬や牛に鞭を入れ、必要なことをすべてしなければなりません。後に祖父が結婚することとなるルーザー・リービットは、家族とともにこの盆地に到着したとき11歳でした。ですから祖母も大平原を歩いて横断したことでしょう。

このような偉大な受け継ぎを持つ皆さんに申し上げたいと思います。預言者が述べているように、教会はすばらしい未来を迎えようとしています。しかしこれらはすべて、わたしたちがどのように生き、教えられた真理を受け入れ、福音の

原則に従って生活し、ともに働き、交流を持つ人々にどのような模範を示すかにかかっています。

信仰に忠実なら——すべては善し

少年時代、たぶん12歳くらいだったと思います。が、わたしは野球が大好きでした。当時、我が家にあった運動用具といえば、古い野球のグローブだけでした。そしてニューヨークヤンキースの選手になって活躍できたら、人生最高の時になるだろうと考えていました。ヤンキースの選手としてワールドシリーズに出場するのです。3勝3敗と互角で迎えた最終試合で、だれがバッターボックスに立つと思いますか。もちろんわたしです。バッターボックスに立つと、ピッチャーはわたしの最も得意とするコースにボールを投げてきます。そして思い切り打ったボールははるかかなたヤンキースタジアムの場外へ消えていき、わたしはワールドシリーズのヒーローになります。これこそ人生最高の時だとよ





**1994年、ヘイト長老夫妻、3人の子供、
18人の孫、39人のひ孫とともに。
ヘイト長老夫妻には現在78人のひ孫がいる。**

く考えたものです。しかし、それが人生最高の時ではないということを皆さんに知っていただきたいと思います。

何年も前に、妻のルビーとともにカリフォルニア州ロサンゼルス神殿の小さな結び固めの部屋に入りました。結婚して間もない息子たちはそれぞれの妻とともにその場にいました。そして、愛する娘が聖壇の前にひざまずいて、今まさに結び固められようとしている青年の手を取っていました。部屋を見渡したとき、これこそが人生最高の時であることに気づきました。部屋には、わたしにとって大切なものがすべてありました。すべてであったのです。永遠に愛する女性であり伴侶である妻がいました。3人の子供はそれぞれの永遠の伴侶とともにいました。そのときに思いました。「わたしが少年時

代に考えていたことは間違っていたのだ。わたしは何かこの世的な出来事が人生で最も偉大だと考えていた。」わたしは神殿の一室で偉大な出来事を目撃していました。その場において、心に感じていました。その一部を実感していたのです。清潔で、心地よく、清い、結び固めの小さな白い部屋に、家族全員がともにいた時間こそが、人生最高の時でした。

わたしの愛を皆さんにお伝えするとともに、この業が真実であることを証します。わたしたちは末日聖徒として、世の人々に明言している信仰に忠実でなければなりません。福音に忠実であってください。これまでに受けてきた、燃えるような証に誠実であってください。主に忠実であってください。わたしたちは主の御名を受けているのです。忠実に生活し、この業を広めるために福音を宣言し、業を助けてください。■

この記事は1997年10月の総大会における説教を基に書かれました。



部屋を
見渡したとき、
これこそが
人生で最高の時
であることに
気づきました。
部屋には、
わたしにとって
大切なものが
すべてありました。

カリフォルニア州ロサンゼルス神殿の写真、ヘステイフ・トレキグル。絵、グレン・ホフキンソン。家族の写真、善者の厚意により掲載

モルドバ

からのメッセージ

教会は、多くの10代の開拓者の努力によって、黒海に近い小国モルドバに新たな希望をもたらしています。

カール・フィンチ, サンドラ・フィンチ

リリア・カラシアックという名前を呼ぶとき、それは母と娘の二人を指しています。この二人のリリアはルーマニアに隣接した小国モルドバ共和国の出身で、二人とも開拓者です。モルドバ人初の教会員なのです。

母のリリアは、合衆国政府の招きを受けて渡米していたときにバプテスマを受け、モルドバ人で最初の改宗者になりました。1997年の5月のことです。

それからわずか6か月後の11月に、娘のリリアがモルドバ国内で最初にバプテスマを受けた会員となりました。リリアはその日バプテスマを受けた人たちの中でも1番目であったので、母国で最初に教会に入った名誉を誇りに思っています。二人のリリアが教会員になってもう6年以上がたちました。

始まり

最初モルドバで教会員は、ジョン・ニールセン、ポール・モーリス、ポールの妻ベティという3人のアメリカ人の末日聖徒だけでした。彼らはモーリス夫妻の自宅で聖餐会を開いていました。ルーマニアのブカレスト伝道部から二人の長老がモルドバに派遣されて、羊たちは羊飼いの声を聞き分け始めました。リリアは母親がアメリカから戻ると、一緒に集会に出席するようになりました。

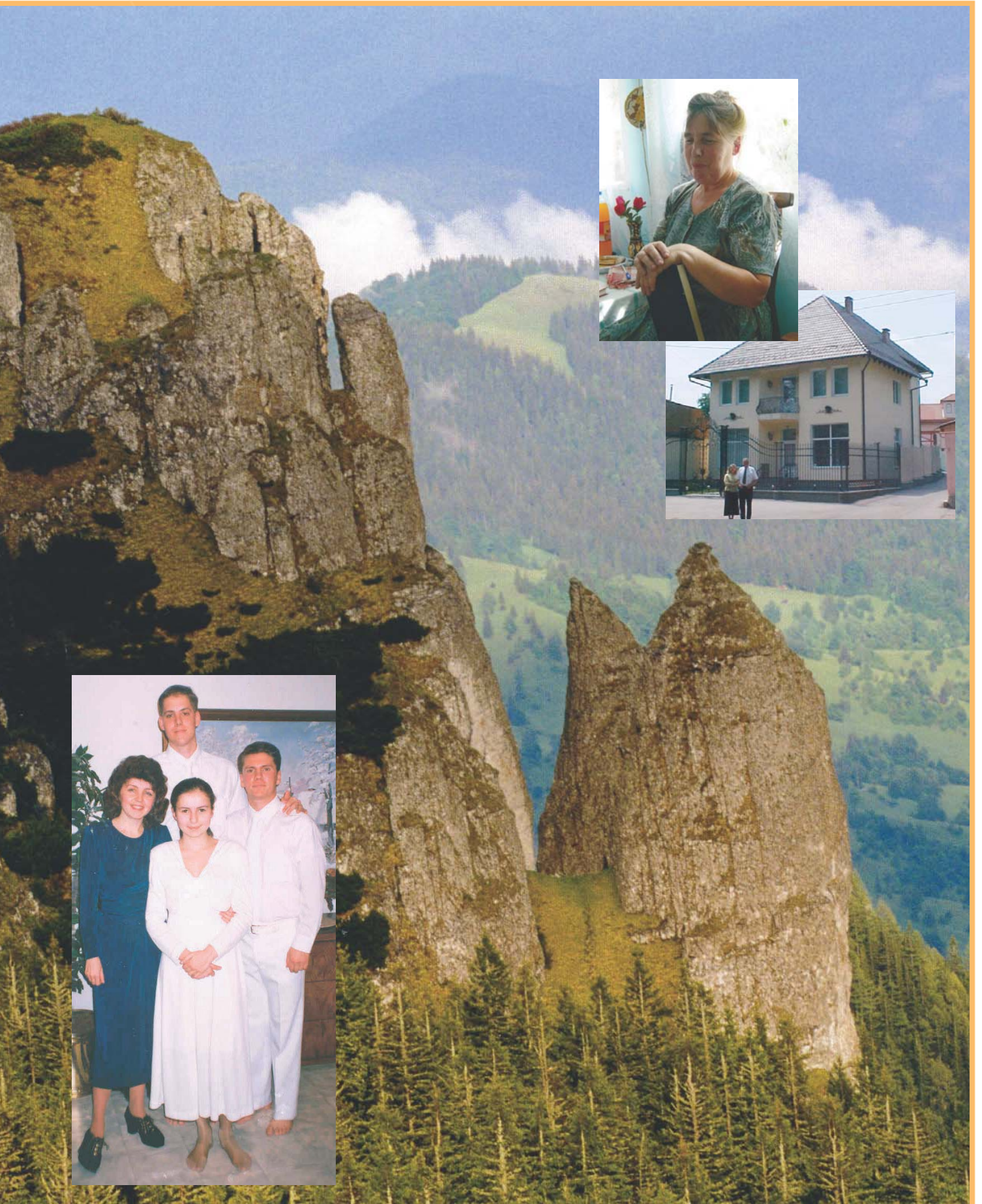
娘のリリアは自分の改宗についてこう語ります。「バプテスマを受ける6か月前から教会の集会に出席し始めました。その間ずっと母が模範を示してくれました。母はわたしに教会のことを紹介しようと、『賛美歌』を1冊くれました。最初に開いた賛美歌『共に愛し合え』が大好きになりました。そのとき、次のことを確信しました。つまり、神はわたしに、自分が特別な存在であり、愛されていることを感じてほしいと望んでおられる、ということです。」

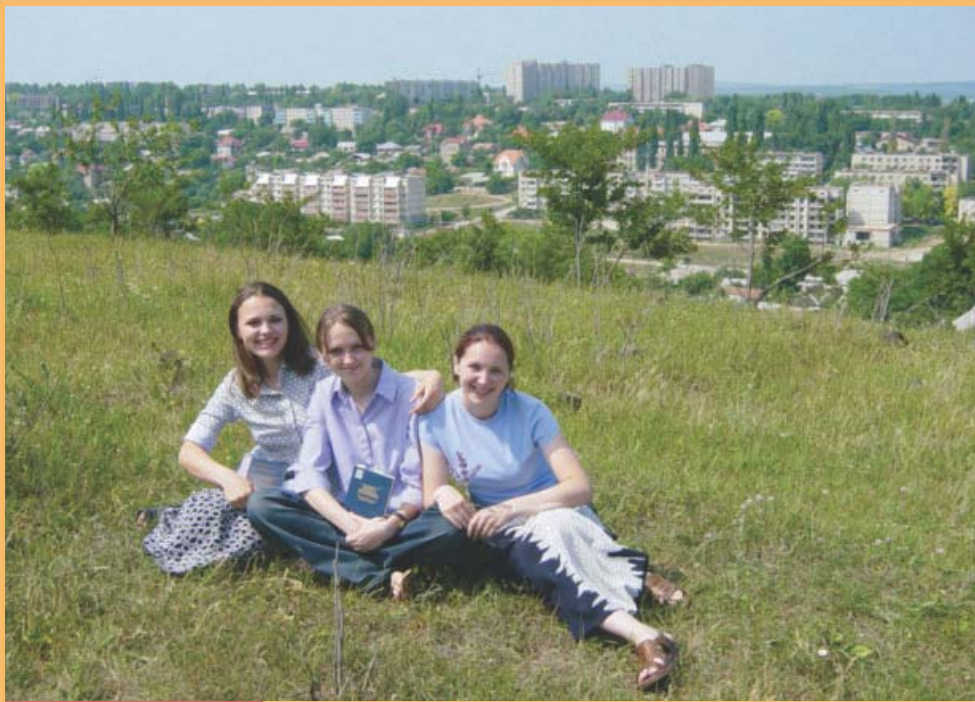
リリアがバプテスマを受けてからこの6年



右——リリア・カラシアック(中央)のバプテスマの日。母親と二人の宣教師ウィリアムズ長老とワズワース長老とともに。バプテスマも宣教師もすべてモルドバ初となった。

右端——オルヘイ支部のユージニア・バカルシアックもモルドバ人の開拓者である。キシニョフの新しい集会所。





も少なくありません。土地は肥沃な黒土で、見事な果物や野菜を産出します。丘陵地帯には山として知られるほどの高地はありませんが、木々や、ところどころにヒマワリが黄色く輝く草地で覆われています。

モルドバで最も大きな支部はキシニョフにあります。イオン・ビルランはモルドバ人初の支部長です。ビルラン支部長の10代の娘ナタリアは、1997年11月に初めてバプテスマを受けた5人のうちの一人で

す。それから数か月後、ナタリアの家族は皆教会に入りました。オルヘイの町にも、もう少し小さな支部があります。

教会が計画した多くの青少年活動も初めてのことでした。キシニョフの支部では、最初のセミナーとインスティテュートのクラスを設けました。青少年たちは初めてのスーパーサタデーを開きました。中でも最高の出来事は、支部に初めての集会所が新築されたことです。建物は2002年12月に奉献され、モルドバにおける開拓者の努力の記念碑的存在となっています。

道を切り開く

これほど若い教会員たちを開拓者と呼ぶのは、少し不思議に聞こえるかもしれませんが、この若人たちは、この国のさらに多くの若人のために、自分たちが道を切り開いていることを理解しています。ジュリアナ・ムスツァーツァはこう言います。「モルドバで現代の開拓者と

首都のキシニョフを見下ろす丘の上で。 ジュリアナ・ムスツァーツァ、 イリーナ・ビジティブ、 マリアナ・トゥルカヌ。

間で、支部は180人の会員を擁するまでに発展しました。その多くが青少年やヤングアダルトです。モルドバの5人の若人がすでに帰還宣教師となり、4人が現在伝道中です。

この若人たちは、教会によってどのように人生が変わったのかを熱く語っています。「自分が唯一ほんとうの教会の会員だと分かると、喜びのあまり叫びたい気持ちになります」とアリン・コンスタンティネスクは言います。「主が

わたしたちモルドバの開拓者に抱いておられる愛と信頼を思う度に、深い感謝の念がわたしの霊を貫きます。」アリンは、現在イギリスのマンチェスターで伝道しています。

「一目でわたしたちが幸福だと分かるでしょう」とマリアナ・トゥルカヌは言います。「それは福音のおかげです。福音はここモルドバでのわたしの人生そのものを変えてくれました。」

ほかにモルドバ初となったもの

小国モルドバは、ルーマニアとウクライナに挟まれた一切れのメロンのような形をしています。人口はおよそ450万人で、ロシア語と、ルーマニア語によく似たモルドバ語が使われています。首都のキシニョフに住む人々は、コンクリートの高層アパートで暮らしています。しかし郊外や村では、いまだに水道のない、人々は自ら建てた小さな小屋に住んでおり、おもな交通手段は荷馬車か徒歩という人



なることは、わたしの心と霊に喜びと幸福をもたらしています。努力すればわたしたちは、教会の発展に貢献できます。主は、模範となり福音を分かち合う機会を与えることで、わたしたち一人一人を祝福してくださいました。わたしはそう確信しています。」

「そうです。わたしたちは開拓者です」とゲオルギウ・ズグラブは言います。「主イエス・キリストの開拓者となることは、素晴らしいことです。この国で福音を分かち合うとき、救い主をもっと身近に感じます。わたしたちは先駆者ですが、同じようにイエス・キリストを愛する人たちが、もっと多く後に続くことでしょう。心の底からそう信じています。」



す。子供たちが能力を高められるような、特別なプログラムを用意しています。このプログラムを通じて、思いやり深く、好奇心旺盛おうえいな子になってもらえたら、と努力しています。子供たちは、物心両面で多くのものが不足しています。でも霊的面で不足は、物質面での不足よりも深刻で傷も深いのです。」

イリーナ・ビジティブも孤児たちを助けています。イリーナはこう言います。「家族は、天の御父が下さる最も大きな祝福

子供たちの世話

救い主に対する若人の愛は、奉仕という形でも表れています。ほかの国々でも行われているように、キシニョフ支部の若い女性たちも奉仕プロジェクトを計画しました。そしてその一つを毎年恒例の行事にしてきました。過去数年間、夏になると、町の孤児院にいる子供たちの世話をしてきたのです。

「わたしたち若い女性は、この子供たちの生活がもっと楽しくなるように最善を尽くしています」とナタリア・グリゴールは言います。「子供たちに愛と慰めを伝え、ともに遊び、愛してくれる人がいることを分かってもらえるよう心を込めて努めていま



左——アリン・コンスタンティネスクとバシレ・ボタンは、現在専任宣教師として働いている。
左端——キシニョフの集会所の敷地に立つ若い男性と宣教師たち。
中——支部長のイオン・ビルラン、妻のナディージャ、二人の娘マリーナとナタリア。
下——イリーナ・ビジティブと兄弟。

下—支部の若い女性たちとともに孤児院で奉仕するナタリア・グリゴール。右—ゲオルギウ・ズグラブとスラバ・スキオバルは、モルドバで福音を広める義務を強く感じている。

です。わたしたちは、この奉仕プロジェクトを通して、子供たちの人生にいくばくかの光をともせたと感じています。そしてこのことは、天の御父がとても重要視しておられることだと思います。」多くの青少年同様、イリーナも家族の中で唯一の教会員です。イリーナは、家族がいつか回復された福音を受け入れてくれることを願っています。

救い主を知る

救い主を知るようになることは、若人のできる最高の経験の一つです。カテリーナ・ベジャンは支部で最初のセミナー教師となり、現在はイギリスで伝道しています。カテリーナはこう言います。「イエス・キリストは、いつもわたしたちとともにおられ、この教会の隅石です。」

「人が『イエス・キリストは生きておられます』と言うのを聞くとうれしくなります」とマリアナ・トゥルカヌは言います。「そのことを自分自身で知ると、すばらしい気持ちになります。わたしは、イエスが生きておられるのと同じように確かに、救い主がわたしを愛しておられることを知っています。」

「多くのモルドバ人が福音について聞く日

を心待ちにしている」とスラバ・スキオバルは確信しています。スラバはこう言います。「わたしたちは天の御父の戒めに従順であることに精力を傾けなければなりません、そのために助け合えるのはこの国ではわずかな人数です。でも、従順であれば、救い主イエ

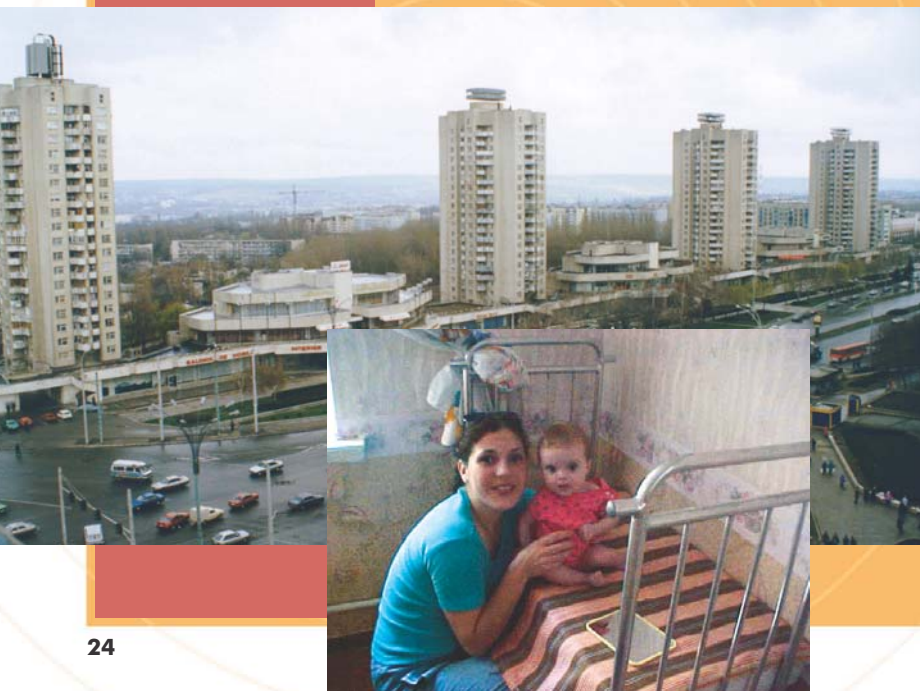


ス・キリストにもっともっと近づくことができ、主の光の中で住めるように主は助けてくださいます。」

現在、フランスのパリで伝道中のバシレ・ボタンは、モルドバに教会が建てられたことは預言の成就の一段階であると考えています。「イエス・キリストの再臨の前には、主の回復された福音があらゆる国民、部族、言語の民、民族の間に広められなければなりません。このメッセージが、モルドバの人々に届けられたことをとてもうれしく思います。こんな小さな国に住むわたしたちのことも、神は覚えていてくださるのです。」

ほとんどの開拓者同様、モルドバの教会員たちも経済的に困窮しています。モルドバ共和国は建国間もない国で、仕事にも成功のチャンスにもほとんど恵まれません。しかし、イエス・キリストの福音を受け入れるモルドバ人の姿勢と、義になんて生きようとする決意は、将来への希望をもたらしています。

■
カール・フィンチとサンドラ・フィンチは、カリフォルニア州モデストステーク、モデスト第3ワードの会員です。二人はモルドバの教会教育システムで宣教師として奉仕しました。





祈りを通して主の愛を感じる

以下のメッセージから訪問先の姉妹たちの必要に合った聖句や教えを祈りの気持ちで選び、読んでください。自分の経験や証^{あかし}を分かち合い、あなたが教える人々も同様に言うよう勧めてください。

これまで祈りを通して、どのように主の愛を感じてきましたか。

教義と聖約19:38——「常に祈りなさい。そうすれば、わたしはあなたに御霊を注ごう。そして、あなたの祝福は大いなるものとなる。」

中央扶助協会第一副会長 キャスリーン・H・ヒューズ——「わたしたちにとって最も素晴らしい経験の一つは、祈りを通して御霊のぬくもりを感じることです。そのとき、天の御父が祈りを聞いてくださり、わたしたちを愛して下さっているとはっきり分かるのです。そして同じように素晴らしいのは、日々の生活の中で祈りがこたえられ、奇跡を経験したことを認識するときです。このとき、天の御父がわたしたちを愛しておられることを再び実感できます。」

大管長 スペンサー・W・キンボール(1895-1985年)——「祈りの言葉を学ぶことは、生涯にわたる喜びにあふれた経験です。祈りの後で耳を澄ませていると、心にある考えが浮かんできたり、強い気持ちを抱いたりすることもあります。平安に包まれて、すべてはうまくいくと確信することもあります。正直で熱心であるならば、いつも良い気持ちを感じられるこ

とでしょう。それは天の御父に対する温かい気持ちと、わたしたちに対する御父の愛を感じるからです。この穏やかで霊的な温かさの意味を知らない人がいるのは悲しいことです。なぜなら、そのような温かさは天の御父が祈りを聞いて下さっていることを証するものだからです。御父は、わたしたちが自分自身を愛する以上にわたしたちを愛しておられます。それは、御父を信頼し、御父の恵みに頼れるということを意味しています。また、絶えず祈り、ふさわしい生活をするならば、御父がその手をもって導きと祝福を授けてくださるということも意味しています。」(「常に祈りなさい」『聖徒の道』1982年3月号, 6参照)

主の愛をさらに感じるために、祈りをどのように改善できるでしょうか。

十二使徒定員会 ヘンリー・B・アイリング——「皆さんが……神と聖約を交わした事柄を実践し始めるなら、神に対する愛をいっそう深めることができ、また皆さんに対する神の愛をいっそうよく感じられることを約束します。そして、愛をもってささげられる皆さんの祈りは、感謝と願いに満ちた、真心からのものとなります。そして神に頼る思いも強まります。……常に祈るようになり、神を忘れるようなことはなくなります。……神はわたしたちを



愛しておられます。祈りを聞き、最善のものを用意してこたえてくださいます。神の御言葉^{みことば}を通じ、また奉仕の業を通じて神を知るようになるにつれ、わたしたちは神をいっそう深く愛するようになるでしょう。」(「祈り」『リアホナ』2002年1月号, 18-19参照)

モロナイ7:48——「御子イエス・キリストに真に従う者すべてに授けられたこの愛で満たされるように、……熱意を込めて御父に祈りなさい。」

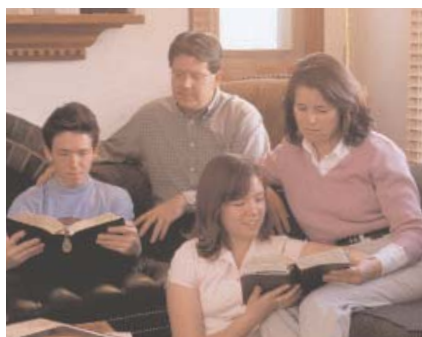
十二使徒定員会 ロバート・D・ヘイルズ——「わたしたちが堪え忍んでいる事柄で、イエスが御存じでないものはありません。そして主は、わたしたちが天の御父に祈るのを待っておられます。忠実で献身的であるならば、祈りはこたえられ、問題は解決し、不安は解消します。また、真理の光が注がれ、暗闇^{くらやみ}に満ちた絶望感は消え、わたしたちは主に近い者となり、主の愛を感じるようになります。」(「忍び抜いた人たちはさいわいであると、わたしたちは思う」『聖徒の道』1998年7月号, 83参照) ■



非行グループの影響から 子供を守る

デニス・J・ノードフェルト

積極的な行動をとることで、
子供が非行グループと
かかわりを持たないように
導くことができます。



大 管長会は、1999年2月11日付け
の手紙の冒頭で、世界中の会
員に対して次のように語りかけ

ています。「わたしたちの周囲には、青少年を傷つけることを意図した破壊的な要素が満ちています。」¹ わたしがユタ州ウェストバレー市の警察署長をしていたときに気づいたのは、非行グループの影響力こそ今日の社会の最も大きな破壊的要素の一つだということです。

定義によれば非行グループとは、お互いに忠誠を誓い合って仲間以外の人間を排除し、非合法行為、または犯罪行為を行う3人、あるいはそれ以上のグループのことです。最近の研究によれば、成人犯罪が減少し、青少年による暴力犯罪が増加しているという、正反対の二つの流れが見られ、そこには非行グループの影響が顕著に表れています。青少年による暴力犯罪の当事者で最も多いのは、非行グループに属する青少年です。

非行グループの仲間に加わるのは、あらゆる地域、人種、宗教、文化、経済的レベルの青少年です。ですから両親は、子供たちをこの危険から守る効果的な方法を知る必要があります。以下に挙げるのは、子供が非行グループとかかわりを持っている、あるいは非行グループの仲間になっていることを示す兆候です。

- 非行グループ風の服装をしている。スタイルは頻繁に変わります。警察、あるいは非行グループに反対する地元の組織から、現在非行グループの間でどのようなスタイルがはまっているかについての情報が得られるでしょう。
- 宿題やノート、寝室の壁や私物に、非行グループ風の落書き

をしている。特に、非行グループ特有のあだ名に注意します。

- 行動や態度に目立った変化が見られる。これには、引きこもり、隠し事、権威を軽視する態度などが含まれます。
- 新しい仲間とつきあい始め、以前からの友人や知人とのつきあいを避けている。
- 手で表すサインやあだ名、隠語を用い、今までと違う話し方をしている。

- 過激なラップ音楽やヘビーメタル音楽に興味を持っている。
- 無断欠席から始まって、門限破り、落書き、公共物損壊、麻薬やアルコール所持など、警察から注意を受けたり、補導されたりすることが次第に増えている。

もしも、子供が非行グループの一員になっているかもしれない、あるいは、なりつつあるかもしれないと感じるなら、その疑念を無視するような過ちは決して犯さないでください。あなたが感じていることは、恐らく正しいでしょう。親はほかのだれよりも、子供のことをよく知っているのですから。子供と話し、あなたの愛を伝えてください。しかし、自分だけでこの問題に対処しなければならないとは思わないでください。監督、あるいは支部長に話し、彼らを通じて青少年の指導者に助けを求めましょう。地域の相談所や活動グループ、また学校のプログラムを利用し、親子双方への助けや励ましを受け、非行グループから抜け出すための手助けを得てください。

家族を強めていくことによって、子供がまだ幼い時期から、将来非行グループにかかわるのを防ぐことができます。大管長会は前述の手紙の中でこう述べています。「親である皆さんに、子供たちを福音の原則の中で教育育てることに全力を尽くしてくださるようお願いいたします。そのことによって子供たちは教会に活発であり続けるでしょう。」実際、どんなことであれ家族を強めようとする働きかけは、子供たちを危険なグループの影響から守る助けとなるのです。だれもが、基本的に、何かに所属することを必要としています。もしも、社

会の基本単位である家族がその必要を満たしていないとすれば、何か別のものがそれにとって代わってしまうでしょう。時に、堅固な家庭に育った子供であっても、誤った選択をしてしまうことがあります。しかし、両親が家庭を魅力あふれた場所にするために最善を尽くすならば、子供たちは選択の自由を賢明に使うことができます。

皆さんが考えるよりもっと早い時期から、非行グループの問題に関して子供たちに教える努力を始める必要があります。専門家は、子供たちがまだ幼稚園の年代から、子供たちのためにならない人々がいること、また非行グループは好ましくない存在であることを教えるように勧めています。もっと年長の子供の場合には、非行グループや暴力について話し合うことが非常に重要です。それによって、子供が非行グループとかかわるのを防ぐことができますし、すでにかかわりがある場合は、それを断ち切ることができます。どのように始めたらいかが分からない場合は、助けを得ることも可能です。地域によっては、非行グループの影響力と闘うための支援を、種々の組織や警察から受けることもできます。

「青少年を傷つけることを意図した破壊的な要素」がことごとく存在する現在、子供を非行グループの影響から守るのに最も効果的な方法は、福音の原則を教え、実践させることです。大管長会は、手紙の中でこう述べています。「わたしたちは親の皆さんと子供たちに、家族の祈り、家庭の夕べ、福音の研究と指導、そして健全な家族活動を最優先するようお勧めします。」こういったことにどんな効果があるのかといぶかしく思えることもあるかもしれませんが、しかし、必ず効果はあ

ります。そして、周囲の勧めに従ってセミナーや日曜日の集会、また教会の青少年プログラムに出席する若人は、非行グループにかかわることで起こり得る、悲惨で無意味な経験や罪、けが、時には死さえも、避けられる可能性が高くなります。

両親が最善を尽くしたとしても、時には悪いグループとかかわりを持ってしまう子供たちもいます。たとえそのような事態になっても、決して価値観を変えたり、望みを捨てたりしないでください。ただ忍耐して、話し合い、理解し合うための努力を続けてください。非行グループとかかわりを持つ青少年は通常、自分を尊重してくれる人を高く評価します。子供に、不適切な行動は受け入れられないことを伝えると同時に、あなたが子供を愛し、一人の人間として関心を持ち、心配していることも伝えてください。

子供が何を選ぼうとも、天の御父は、わたしたちが子供のことを決してあきらめないように望んでおられます。それは、天の御父がわたしたちをあきらめるようなことは決してなさらないのと同じです。「見よ、子供たちは神から賜わった^{しきょう}嗣業であ……る。」(詩篇127:3) そして、子供たちがこの世の落とし穴に陥らないように助けることは、わたしたちにできる最善の、そして最も靈感に満ちた努力に値します。■

デニス・J・ノードフェルトは、ソルトレーク・ジョーダン北ステーク、ジョーダン北第3ワードの会員です。

注

1. 「大管長会からの手紙」『リアホナ』1999年12月号、1参照





数では圧倒されているが……

パオロ・マーティン・N・マカリオラ

わたしは月曜日の朝に学校に行きました。わたしの学校には、1,200人の生徒の中で末日聖徒は5人しかいません。男子生徒数人がわたしのところに来て、仲間に入らないかと言いました。わたしは数では圧倒されていました。彼らは、体にピアスをしていて、ほとんどの生徒よりも背が高く、体格も良いのです。そして、仲間入りを拒んだ生徒たちをいじめていました。

わたしも体格が良い方で、彼らの仲間に入ろうかと考えました。わたしはとても内気なので、そのグループに入ることで内気さを補えるのではないかと思ったのです。「考えさせてくれないか」と聞くと、いいという答えが返ってきました。

わたしは両親に意見を聞きました。両親は、祈って聖文を読むべきだと言ってくれました。寝る前にわたしは、聖文と『若人の強さのために』を読みました。そこには、「高い標準を守るために励まし合い強め合えるような、価値観を分かち合える友達を選んでください」と書いてありました(12ページ)。それから、助けを求めて祈りました。「彼らはわたしにとって正しい

友達でしょうか。」

次の日の授業中、ポケット版の『若人の強さのために』のパンフレットを開きました。もう一度それを読むと、どう返事をすべきかが分かりました。「それで、おれたちの仲間に入るかい」と、彼らから聞かれたときに、わたしは何のためらいもなく「入らないよ」と答えました。

どうしても聞かれたので、率直に、体にピアスをしたくないし、自分の強さを利用して人を傷つけたくはないからだと言いました。さらに、イエス・キリストに従って、だれにでも親切にしたいと思っているとも言いました。彼らは「人気者の仲間入りをするチャンスを無駄にしているぜ」とでも言いたげに見ていました。

今ではあの非行少年たちとは違う友達がいます。わたしの友達は良い生徒で、身だしなみもよく、品行方正です。この経験を通じて、天の御父の助けを求めれば、御父は助けてくださることが分かりました。■

パオロ・マーティン・N・マカリオラは、フィリピン・バコロド南ステーキ、タンガブワードの会員です。

仲間に
入らないかと
聞かれたとき、
数では彼らに
圧倒されていると
感じました。そこで
主に尋ねることに
したのです。



御父の御心に従う

み ころ



メキシコ南地域
地域幹部七十人
ベンハミン・デ・ホヨス

**自分の欲求を
神の御心と
調和させるとき、
霊的な力が得られます。
アビナダイの言葉は、
わたしたちが
このことを理解する
助けとなります。**

預言者アビナダイの力強い言葉の中には、間違いなくモルモン書の中の傑出した教えの一つと呼べるものがあります。アビナダイは、キリストの贖いと贖いが全人類に及ぼす効力に関する教義を、非常に明確に表しているのです。

わたしたちは、救い主の模範に従い、肉体を持つ者としての欲望を神の御心みころに従わせるときに力を授かります。アビナダイは、この力と関連する贖いの業の一局面を明らかにしました。預言者アビナダイはこの特性を次のように記しています。

「わたしはあなたがたに、神御自身が人の子らの中に降くだって来て、御自分の民を贖われるということを理解してほしいと思う。

この神は肉体に宿られるので、神の御子と呼ばれる。またその肉体を御父の御心に従わせられるので、御父にして御子なのである。……

このように、肉体が御霊みたまに従い、あるいは御子が御父に一つの神として従われた後、御子は誘惑を受けてもその誘惑に負けず、かえって御自分の民からあざけられ、鞭打たれ、追い出され、拒まれるままになさる。……

まことにこの御方は連れて行かれて、十字架につけられ、殺され、その肉体は死に従うが、御子の御心は御父の御心にのみ込まれてしまう。」(モーサヤ15:1-2, 5, 7)

大いなる変化を求める

人々に確信と生きる指針を与える靈感に満ちた言葉を求めて日々聖文を読むなら、全能なる主の御霊によって心に大いなる変化がもたらされます。ベニヤミン王が力強い説教を終えたとき、「わたしたち〔は〕悪を行う性癖をもう二度と持つことなく、絶えず善を行う」と民は宣言しました(モーサヤ5:2)。民は、たゆまぬ努力を経て、すべての悪を退ける能力だけでなく、言葉と行いと思いの中にすべての善なるものを招き入れる能力を得たのです(2ニーファイ9:39;モーサヤ4:30;アルマ12:14参照)。これよりも偉大な願いがあるでしょうか。

アビナダイの言葉について深く考え、生まれながらの人を捨て、「キリストの贖罪しよくざいにより……聖徒」になるという偉大な願いを心に抱こうとするとき(モーサヤ3:19)、わたしたちはアビナダイが語った原則の一つを理解することができます。それは、キリストは肉体と思いを御父の御



奉仕を通して御心に従う

末日聖徒には、教会での召しを通して奉仕する機会が与えられています。教会には有給の聖職者がいないため、わたしたちは皆互いに奉仕し、管理し、教え導く責任に召されます。この奉仕の機会には、時間と努力、学ぼうとする意欲が必要となります。また、靈感を通して、また権能を授かった神の僕を通して示される神の御心への従順さも必要となります。

「心と、勢力と、思いと、力」を尽くして神に仕え(教義と聖約4:2)、肉体を御父の御心に従わせるための方法を幾つか紹介しましょう。例えば、わたしたちは日々の生活の中で抱えるこの世的な事柄をわきに置いて主の宮に参入し、人々のために奉仕の業を行うことができます。いつも御子の御霊を受けられるように(教義と聖約20:77, 79参照)毎週熱心に聖餐会^{せいさん}に出席し、聖餐にあずかることができます。また自らを清く保ち道徳的に清い状態であることによって、偉大な宣教師、すなわち御霊によって教える宣教師の偉大な世代の一人として奉仕することができます。より天の御父に近づき、飢えた者にパンを分け与え、裸の者を見てこれに着せ、助けを必要としている人々を救うために、定期的に断食を行うことができます。断食は、悪の縄をほどき、くびきのひもを解き、虐げられる者を放ち去らせ、すべてのくびきを折るうえで助けとなります(イザヤ58:6-7参照)。

自らの必要を忘れ、快樂を放棄するとき、肉体を御父の御心に従わせていることとなります。すなわち「神の善い言葉で養われ」る必要のある新しい改宗者を含めて(モロナイ6:4)、人々を訪問するために時間を割き、「弱い者を助け、垂れている手を上げ、弱くなったひざを強め」るとき(教義と聖約81:5)、肉体を御父の御心に従わせていることになるのです。

また、「熱心に善いことに携わり、多くのことをその自由意志によって行い、義にかなう多くのことを成し遂げ」るときに(教義と聖約58:27)、自らの肉体と意志を神に従わせていることとなります。確かにわたしたちは「主がその人に負わせるのがふさわしいとされるすべてのことに喜んで従」わなければなりません(モーサヤ3:19)。そして恐らくほかのどのようときよりも、キリストの福音という土台の上に家庭を築こうとするときに、自らの意志を御父の御心に調和させることができるのです。



わたしたちは日々の生活の中で抱えるこの世的な事柄を進んでわきに置いて、主の宮に参入すべきです。

幸福の本質を理解する

わたしたちの存在が永遠であることを理解することによって、周りの物事に対して正しい価値観を持つようになれば、神の御心に従うことは容易になります。かつてギリシャの哲学者ソクラテスは、市場で取り引きされる、種々のいかなる立派な商品を見ても称賛しなくなったと言われています。ソクラテスは言いました。「なくても生活できるものが何とたくさんあることか。」

性急に幸福を追求するとき、往々にしてまったく価値のないものや有害なものを欲してしまうことがあります。けれども自らを治めることを望むなら、目標に到達するために不可欠な事柄に時間を費やさなければなりません。

御父の勧告に従う人には確かに幸福が訪れます。ベニヤミン王は言いました。「あなたがたは、神の戒めを守る者の祝福された幸福な状態についても考えてほしい。見よ、これらの者は物質的にも霊的にも、すべてのことについて祝福を受ける。そして、もし最後まで忠実であり続けるならば、彼らは天に迎えられ、決して終わりのない幸福な状態で神とともに住めるのである。」(モーサヤ2:41)

神の王国、すなわち主の教会のすべての事柄は、聖徒の中の最も弱い者でもイエス・キリストに従うことができるように構築されています。わたしたちは確かに、肉体と意志を神の御心に従わせ、キリストの息子および娘となるための力を得ることができるのです(モーサヤ5:7参照)。

キリストの真の弟子となるために、十二使徒定員会ニール・A・マックスウェル長老の靈感あふれるメッセージを思い起こす必要があります。つまり、人が御父にささげることのできる唯一の所有物は、自身の思いなのです。¹ 救い主の贖いのおかげで、わたしたちはたとえ弱さを持っていても、肉体の敵に打ち勝つことができます。少しずつ、教えに教えを受けて、ついにキリストのような人になれるのです。■

注

1. 「御父の御心にのみ込まれる」『聖徒の道』1996年1月号, 26





100万人に達する メキシコの会員

教会歴史上の重要な地点を通過するに
当たり、メキシコの教会員の信仰と模範は、
さらに多くの同国人に影響を与えています。

教会機関誌
ドン・L・サール

メキシコは、もし現時点で達成していないとしても、
年内には合衆国以外の国としては初めて末日聖徒
の会員数が100万人に達する国となるでしょう。

これは、近年メキシコや中南米で教会が急激に発展を遂げ
ていることを示しています。メキシコで伝道が開始されたのは
100年以上も前のことですが（「メキシコの教会における重要な
出来事」42参照）、教会の発展に拍車がかかったのは、1950-
1960年代以降のことです。スペンサー・W・キンボール大管長が
1973年に第12代大管長に召された時点では、世界中の教会員
数は330万人にすぎませんでした。それが現在では、メキシコお
よび中南米だけでそれ以上の会員数を擁しているのです。

この発展が実現したのは、預言が成就したため、あるいは
義にかなった人々の祈りがこたえられたためであると、多くの
会員は証あかししています。またメキシコの会員は、発展により
得られた祝福に深く感謝しています。一つの例を紹介しま

**教会の開拓者である祖父母や両親の代の会員は、
メキシコ・チャルコステークのイサイアス・マルティネスと
妻のマリア、息子イサイ、娘ハトシリのような会員たちに
霊的な遺産を託しました。**

しょう。メキシコの教会員は何十年もの間、神殿に参入する
ためにアメリカまで足を伸ばさなくてはなりませんでした。
1983年にメキシコシティで神殿が奉献されたとき、会員た
ちは歓喜の声を上げました。現在メキシコには12の神殿、20の
伝道部、199のステークがあります。

教会員の顔ぶれも多彩です。メキシコシティ首都圏に住
み、専門職に従事している人から、遠く離れた田舎で農業を
営む人、労働者、と幅があります。彼らの共通点は、イエス・
キリストに対する証と主に命じられるままに仕え合いたいと
いう望みがあることです。メキシコに住む末日聖徒の生活の
豊かさをそのまま言葉で表したり、写真に収めたりすること
は不可能ですが、以下の言葉や写真から、代表的な会員の
生活をかいま見ることができるでしょう。

ほんとうに望んでいた結婚式

メキシコ・モンテレー神殿は、主要な幹線道路に隣接する
丘の上にそびえ立っています。この道路を走っていて、神殿
の壮大さと周囲の状況が目に入らない人はいません。ローマ
ン・ロドリゲスと妻ノーマが初めて神殿の横を通ったとき、
オープンハウスを告げる看板が目に入りました。二人は子供
たちを連れて、引きつけられるように神殿に入りました。

法律に従って15年前に民事結婚をしていたロドリゲス夫妻
には、3人の子供がいました。教会での結婚式を挙げていな
かった二人は、結婚式を思い出に残るものにしようと計画し
ていました。しかし、モンテレー神殿を訪問したときに、それ
まで感じたことのない気持ちを抱いたのです。ローマンはた
とえような不安と喜びを感じました。それはノーマも同じ
でした。そして二人はともに、この神殿を建てた教会の教
えについてもっと学ぶべきだと感じ、帰る前に自分たちの名



メキシコ・
モンテレー神殿に
そびえる
モロナイ像のように、
会員たちは
メキシコにおいて
急速に際立って
きています。

前を記入して、宣教師の訪問を要請しました。

ロドリゲス姉妹はこう語っています。「ほかの教会での結婚式の準備をしていたとき、これでいいのだろうかと何度も疑問に思ったことを覚えています。わたしは主に助けを求めて祈り、永遠の結婚について知ったときには、祈りがこたえられたと感じました。」

2003年5月15日、ロドリゲス兄弟姉妹とその娘と二人の息子は、バプテスマを受けてから1年と8日後に主の宮を再び訪れ、ほんとうに望んでいた結婚式、つまり家族の永遠の結び固めを行ったのです。一家はメキシコ・サンニコラスステーク、サントドミンゴワードの会員で、ロドリゲス兄弟は長老定員会の会長を務め、ロドリゲス姉妹は家庭訪問主任として働いています。二人の子供である14歳のバネッサ、11歳のロマン、9歳のオマールは、初等協会や青少年のプログラム、そのほかワードの活動に楽しんで参加しています。

ロドリゲス兄弟姉妹は、どちらも数々の霊的な経験をしたと話してくれます。彼らはその経験を通して、教会の会員になると決心したことが賢明であったと再確認しました。ロドリゲス兄弟の話によると、夫妻は以前、この世のものを追い求めていました。しかし今では、



キンボール大管長の夢

「1946年にメキシコを訪れたとき、……メキシコの教会員の皆さんが成長し、発展する夢を見ました。……皆さんが雇用される

のではなく、管理職に就いている夢を見ました。……

リーハイの子孫が、エンジニアや建築者になり……

皆さんの息子たちの多くが弁護士になったり、世界の問題解決に携わったりするのを見ました。会社や工場の所有者になるのも見ました。……

また弁護士と同様、人々の健康を維持する医者も見ました。そして若いメキシコの男性や女性が、素晴らしい教師、社会に影響を与える新聞社の所有者になるのを見ました。そして皆さんの中に偉大な芸術家が誕生するのを見ました。……

教会は大きく前進し、ワードやステークが組織されるのを見ました。……そして神殿を見たわたしは、神殿に多くの男女、若い人々が参入するよう期待しています。……

これがわたしの見た夢です。恐らくそれは示現だったのでしょう。この素晴らしい人々が達成するであろうことを、主はわたしにお示しくださったのでしょう。」

スペンサー・W・キンボール(1895-1985年)
Conference Report,
1977年メキシコシティー地域大会, 31





**左——メキシコシティのアマリア・エストラダ・カテロ；
グアダハラ近郊の農場に住むノリエガ家族；
モンテレーの教会雇用情報センターの職員二人。
最上——メキシコシティにある教会の学校、
ベネメリト学校の生徒たち。必要な人に車いすを
寄贈するための準備をしている。
上——メキシコシティにある宣教師訓練センターのクラス。**

実に深い知識を得て、霊の目ではっきりと物事を見ることが
できます。「やっと生活があるべき姿になってきたように感じ
ます。」ロドリゲス兄弟はそう語ります。

かつての状況

メキシコ各地の末日聖徒の開拓者は、似たような経験をし
ています。何年もつまはじきに遭い、時には迫害を受け、教
会はなかなか大きくなりませんでした。教会員がメキシコ社
会の中で増加するようになり、受け入れられ、敬意を払われ
るようになったのは近年になってからです。

メキシコ・グアダハラ・モクテスマステーク、ラスアグイラ
スワードのフランシスコ・マグダレノと妻エステラは、1960年
代半ばにバプテスマを受けました。二人の住む地域では伝
統的な宗教が深く根づいていました。最初、近所の人々は二
人にも教会にもかかわりたくないと思っていました。マグダレ
ノ夫妻は自分たちの宗教を守りながら生活し、周りの人々と
できるかぎり良い関係を保とうと努力しました。夫妻と3人の

子供たちは皆メキシコ内の伝道部で伝道しました。そして現
在マグダレノ一家は、近所の人々から宗教的な事柄について
助言を求められるまでに至っています。

メキシコ・メリダ中央ステーク、アエロプエルトワードのシ
クスタ・マリア・マルティネスは1974年にバプテスマを受けた
とき、すでに62歳になっていました。姉妹はすぐに神殿の業
をこよなく愛するようになり、何度かメキシコ南部からアメリ
カ合衆国のアリゾナ州にあるメサ神殿まで長時間旅をして
参入しました。そして後にソルトレーク・シティーの神殿に参
入するという喜ばしい機会を得ました。これまでマルティネ
ス姉妹は、先祖5代分の神殿の儀式を終了しています。そし
てメリダの自宅から数キロの所に神殿が建つのが見ることが
できました。現在92歳のマルティネス姉妹は、週に1度は神殿
に参入しています。「神殿参入はわたしの喜びであり、わた
しの人生です。」マルティネス姉妹はそう語ります。

メキシコ・メキシコシティ・エルミタステーク、ナルバルテ
ワードのアマリア・エストラダ・カテロは、教会員の家庭に
育ちました。1880年代後半にエストラダ姉妹の祖父母が教
会に入ったのです。しかし、エストラダ姉妹がまだ若かつ
たころ、彼女の住んでいた小さな町には、姉妹と家族以外に
教会員はいませんでした。エストラダ姉妹は30代半ばだっ
た1956年、メキシコシティに引っ越して初めて、教会に活
発に集えるようになりました。最初に神殿に行ったのは、
1963年のメサ神殿への団体参入のときでした。現在は近所
のメキシコシティ神殿にできるだけ頻繁に参入するよう
にしています。訓練を受けた教師として、エストラダ姉妹は
教会のあらゆる補助組織で教え、扶助協会の会長を務めた
こともあります。小さな町に住んでいた若いころには、地元
の有力な宗教を信仰するよう圧力を受けていました。しかし
彼女の場合も現在、近所の人々がより豊かな生活を送る方
法を求め、彼女のもとに来るようになってきました。近所に住
む若い男性は、彼女と話をしてからこのように言いました。「わ
たしの教師と話してきました。」

抗を強くする

「最近、うちの子供はどんなに恵まれているかって主人に
話していたんです。」メキシコ、チャルコステーク、ウイシル
シゴワードのマリア・エルナンデス・デ・マルティネスはそ
う語ります。改宗者であるエルナンデス姉妹は、神殿の結び
固めと福音を通して家族が得られるすべての祝福に感謝し
ています。

夫であるイサイアス・マルティネスはこのように述べていま
す。「祖父母の写真を眺める度に、彼らが教会員として行っ

たことに感謝の気持ちでいっぱいになります。」マルティネス兄弟の祖父は1940年代にバプテスマを受けました。祖父と父親は二人とも地元の神権指導者として奉仕しました。マルティネス兄弟は25歳のときに監督に召され、現在はステーキ書記を務めています。

マルティネス兄弟は電子工学エンジニアで、姉妹は教育者としての訓練を受けています。兄弟の言葉によれば、ある意味で二人は、祖父母や両親の世代が、苦勞しながらも次世代に教育を受けさせた成果を象徴しているのです。先代の努力により、現在メキシコに住む多くの教会指導者は、それぞれの地域社会で福音の原則に従うことで成長した象徴的な存在となっています。

メキシコ・メキシコシティー・チュルプスコステーク、エストレージャワードのガリンデス夫妻は一つの例です。アルマンド・ガリンデス兄弟は弁護士であり、企業に社会教育を提供する会社を経営しています。クラウディア・ガリンデス姉妹は観光業の経営に熟知していて、夫の会社で働いています。メキシコで成功しているガリンデス兄弟ですが、アメリカで事業を拡張し、さらなる富を得ることに興味を示しません。その可能性があるにもかかわらず、彼はメキシコにとどまり、教会を築き上げる担い手になることを選んでいるのです。ガリンデス兄弟は、メキシコ社会における教会員の役割に関するスペンサー・

W・キンボール大管長の夢を成就するために手助けをしたいと考えています（「キンボール大管長の夢」36参照）。

アルマンドとクラウディアは結婚する前から、福音を中心とした目標を自分自身と家族のために定めていました。ガリンデス兄弟は、自身が提供する訓練の中で、福音を基とした原則を用いています。その一例がこの原則です。「平凡な人から非凡な人になるために必要な唯一のことは、自分がどうい存在かを理解することである。」

世界のほかの地域と同様、メキシコにもバプテスマを受けて数週間や数年で教会を離れる末日聖徒イエス・キリスト教会の会員がいます。二度と教会に戻らない人もいます。それでも、すべての会員が教会で友達と責任を持つよう、そして神の言葉で霊的に養われるようにというゴードン・B・ヒンクレイ大管長の勧告に従ってきた神権指導者は、教会に活発に集うことで得られるすべての祝福を享受していない人々に手を差し伸べ、多くの人を呼び戻すうえで、その勧告がとても効果的であると語ります。会員の中には、御霊を通して福





メキシコのルーツ

1870年代半ば、ブリガム・ヤング大管長は使節をメキシコに送り、合衆国での迫害から逃れ、ラテンアメリカに福音を紹介するための入植地となる場所を探させました。最初の末日聖徒の入植者は1885年に到着し、ついにはチワワ北部のカサスグランデス川沿いに7か所の入植地、さらにソノラ北部のバビスペ川沿いに2か所の入植地を築きました。

砂漠を開拓するという困難にもかかわらず、入植者たちはしばらくその地で繁栄しました。1895年、コロニアフアレスでメキシコ初のステークが組織されました。1910年に始まった革命の間、イギリス系入植者たちはメキシコを追われましたが、後に戻って自分たちの家と土地を取り戻す人たちもいました。入植地の大半は消滅していきましたが、チワワ北部のコロニアドゥブランとコロニアフアレスには、今でも初期入植者の子孫の多くが住んでいます。

バウマン、ブラウン、コール、アイリング、ハッチ、アイビンズ、ロムニー、スミス、テラー、ターリーなど多くのイギリス系入植者が、教会歴史に名を残しています。第一副管長を務めたマリオン・G・ロムニー長老(1897-1988年)は入植地で生まれました。またカミラ・アイリングとヘンリー・アイリングの姉弟も植民地で生まれました。カミラ・アイリングはスペンサー・W・キンボール大管長の妻であり、ヘン



リー・アイリングは十二使徒定員会のヘンリー・B・アイリング長老の父親です。このような初期の入植者たちは福音を根づかせるという義務をよく果たしました。そして現在、地元の教会に集う教会員の中でメキシコ人を先祖に持つ会員たちは、イギリス系入植者たちの子孫より数が増えています。

現在コロニアフアレスには、メキシコの神殿の一つが建っています。メキシコ・チワワコロニアフアレス神殿は1999年に奉獻されました。



左——モンテレーのモレイラ夫妻、カルロスとイリアナ。その息子カルロスと；グアダハラハラの聖餐会せいさんの開会行事；メキシコシティの日曜学校の会員；上——モンテレーのマリオ・マルティネス一家。

音がいかに祝福を与えてくれるのかを思い出し、自ら戻って来る人もいます。

メキシコ・グアダハラハラ・レフォルマステーク、ハルディンワードのヨランダ・エルシエ・ディアス・デ・ベガは、1979年に夫とバプテスマを受けた後、二人で夜更けまで福音の勉強をしたことを思い出します。「わたしたちは聖文に飢え渴いていました。」しかしベガ姉妹はバプテスマを受けてから7か月後、古くからの会員にいわれない批判を受けたと感じ、翌週から教会に行くことができなくなりました。それから4年間、ベガ家族は教会から離れていました。しかし離れていることで家族が失う祝福が気にかかり、教会に戻るようになったのです。

その後何年もベガ一家は活発に集っています。そして家族やワード、近所の人々を強めています。より善い夫婦になり、互いに仕え合う方法を学びながら多くの祝福を得てきたと、ベガ兄弟は言います。福音は「わたしたちの考え方や生き方を変えました。」二人の子供は福音を学び、福音に添って生活して育ちました。



上—メリダにあるワードの活動に参加する会員たち。
右—メキシコ・メリダ神殿。

そして今では孫たちが、教会の活動を通して同じように霊的な機会を得ています。「子供たちを誇りに思っています。教会員として社会の中でも立派に生活しているからです。」ベガ姉妹はそう語ります。彼らの4人の子供は、親の模範があるのでそのように生活していると答えてくれました。

祝福とともにあずかる

メキシコ・グアダハラ・モクテスマステーク、プリマベラワードに属する11歳のサムエル・プリオネスは、グアダハラ神殿のオープンハウスに学校の先生を招待し、先生が福音に興味を持つきっかけを作りました。神殿を訪れてから、先生は宣教師と会うようになりました。サムエルとサムエルの12歳の兄、ホセ・フリオに空手を教えているこの先生は、二人の少年とのつきあいから、福音に興味を持つようになり、バプテスマを受け、現在はステーキ幹部書記を務めています。

「多くの人は真理を求めているも、真理がどこにあるのかわかっていないのです。」少年たちの父親であり、12歳の息子と同名のホセ・フリオ・プリオネスはそう語ります。聖霊に敏感になって、人の求めていることを感じられるようになれば福音を伝えるのは簡単であるとプリオネス兄弟は言います。ホセフィナ夫人は、まかれた種が芽を出すのに時間はかかっても、その後急速に生長することを知りました。プリオネス姉妹は、福音を聴く備えができてるように思えた夫婦に福音を伝えましたが、時間の調整がつかず、教会の集会に出席することはできないと断られていました。この夫婦がようやくプリオネス姉妹と教会に出席できるようになると、姉妹自身も驚くほど、二人は喜んで、そしてすぐに福音を受け入れました。

1999年から2002年までメキシコ、トレオン伝道部の部長を務めたメリダのマウロ・ヒルは、宣教師が受け入れられている大きな理由は教会員の模範であろうと述べています。ヒル兄弟は、模範的な教会員の影響を思い浮かべながらこのように語っています。「福音によって、メキシコはよりすばらし

い国になるでしょう。」ヒル兄弟はこれまでの20年間、ユカタン半島における教会員が什分の一などの福音の原則に従うことで、霊的な意味だけでなく物質的な意味でも着実に生活が向上するのを見てきました。

メキシコの神殿は、教会員の繁栄と発展を表す目に見える象徴にすぎないと、ヒル兄弟は言います。「神殿は人々の暮らしに恩恵を与えてくれます。そしてわたしたちの子供たちも、その恩恵に浴することでしょう。」

神殿の影響

1週間かけてアリゾナ州メサ神殿に参入していた時代を覚えている教会員は、現在国中のほぼどこからでも、一日で行ける距離に神殿があることを喜んでいきます。土曜日には、メキシコ内の神殿の駐車場に、遠隔地から参入のために来た会員たちのバスが何台も留まっています。

会員の中には、単に主の宮の清掃を手伝うことで喜びを感じる人もいます。グアダハラで第二副神殿長を務めるアルフレッド・ゴメスは、神殿の清掃当番を終えて帰る会員とあいさつを交わしました。ゴメス副神殿長はその人に疲れてはいないかと尋ねると、その人は、疲れてはいるが心地よい疲れだと答えました。この男性は力を得て家路に就きます。

「この地の会員にとって、神殿の価値は計り知れないものです」とゴメス副神殿長は語ります。遠隔地から参入する人の中には、食費などの生活費を削って参入の費用に充てている人もいます。「会員たちは、神殿が自分たちのものであると分かっています。儀式を行うため、あるいはたとえ清掃のためであっても、会員たちは神殿に来るときに、ここを自分たちの場所にするのです。」

地元の指導者は会員が神殿の業に従事できるよう励まし、支援しているとゴメス副神殿長は説明します。「こう言っても差し支えないと思うのですが、ヒンクレイ大管長の計画は、神殿を会員たちに近づけ、そして会員たちを神殿に近づけることだったのでしょ。」

メキシコ全土において、会員は神殿での礼拝を生活の一部とし、神殿から日々祝福を得ています。マタモロスやシウダービクトリアからマサトランやグアイマスまで、プエブラやカンペチュエからアカプルコまで、会員たちは自宅に近くなった神殿を通して得られる祝福を喜んでいきます。

モンテレーでは、神殿建設に反対する声が多くありました。1997年から2000年まで七十人定員会の会員であったエラン・A・コール神殿長によれば、それでも夢で神殿が建つを見て、必ず建つと知っていたと証する会員もいたと言います。ここでも会員たちは神殿をわたしたちの神殿と呼んでい



メキシコの教会における重要な出来事



サンペドロ・マルティル集会所は、
1938年に奉献された。

1847年7月——ブリガム・ヤングに率いられた末日聖徒の開拓者が、メキシコ領であったソルトレーク盆地に到着する。

1874年——ブリガム・ヤング大管長は、モルモン書をスペイン語に翻訳するためにダニエル・W・ジョーンズを召す。しかしジョーンズ兄弟はスペイン語がそれほど分からなかった。ソルトレーク・シティーに到着したスペイン人のメリトン・G・トレホの助けを借りて、モルモン書の一部が出版される。

1875年1月6日——最初の末日聖徒の宣教師がメキシコに入国する。

1876年——伝道第2期がソノラ州で始まる。最初の会員たちがバプテスマを受ける。

1879年11月15日——最初の末日聖徒の宣教師、十二使徒定員会のモーゼス・サッチャー長老、メリトン・G・トレホ、ジェームズ・Z・スチュワートの3人が首都に到着する。

1879年11月——プロティノ・ロダカナティを支部長に、メキシコで最初の支部が組織される。

1880年1月25日——メキシコシティーのホテルの一室で、サッチャー長老により、初めてメキシコが奉献される。

1881年4月6日——サッチャー長老

が再びポポカテペトル山で、福音の伝道と入植地の定着のためにメキシコを奉献する。またメキシコにおける初の教会の大会のために、サッチャー長老ほか8人が火山のふもとに集う。

1885年——イギリス系末日聖徒による、メキシコでの入植第1期が始まる。結果としてチワワに7か所、ソノラに2か所の入植地が築かれる。

1886年——メリトン・G・トレホとジェームズ・Z・スチュワートによるモルモン書全編の翻訳が完成し、出版される。

1889年半ば——ユタでの迫害のため、メキシコでの伝道が一時中断する。

1895年12月9日——アンソニー・W・アイビズ(後の十二使徒定員会会員)を初代ステーキ会長に、フアレスステーキがチワワの末日聖徒入植地で組織される。

1901年6月8日——メキシコ伝道部が再開する。

1907年9月——レイ・ルセロ・プラット(後の七十人定員会会員)がメキシコ伝道部の部長に召される。任期は24年間に及ぶことになる。1901年から1910年の間に、メキシコ伝道部はメキシコ州、イダルゴ州、モレロス州、特別行政区にまたがることになる。

1913年8月29日——1910年に勃発したメキシコ革命のため、プラット伝道部長と宣教師たちは伝道部を閉鎖し、メキシコを離れることを余儀なくされる。革命により、会員たちは大いに苦しめられる。殺された者もいる。ラファエル・モンロイとビンセント・モラレスは1915年に処刑され、信仰に殉じた会員として知られている。この戦いで会員たちは入植地を離れることになった。

1922年——合衆国から宣教師がメキシコに戻る。

1937年——メキシコ伝道部が『リア

ホナ』の前身である機関誌『イン・ヤオトゥラピヨウイ』(In Yaotlapiyoui)を発行する。

1960年——メキシコにて末日聖徒の教会学校制度が定められる。1964年、メキシコシティーで進学準備学校のベネメリト・デ・ラス・アメリカスが開校し、生徒の質の高さで有名になる。

1961年12月3日——メキシコ人の聖徒が大半を占めるステーキが、メキシコシティーで初めて組織される。スペイン語圏における初のステーキとなる。

1967年——メキシコシティーステーキが分割し、メキシコシティー北ステーキが組織される。メキシコ人初のステーキ会長としてアグリコル・ロサノ・エレラが召される。

1972年——メキシコの会員数が10万人に達する。

1983年12月2日——メキシコシティー神殿と訪問者センターが奉献される。

1989年7月25日——メキシコ・テカルコステーキが組織されたことで、メキシコは合衆国以外で、初めてステーキ数が100に達する。会員数は推定50万人以上となる。

1994年12月11日——ハワード・W・ハンター大管長はメキシコを訪問し、教会の2,000番目のステーキとなるメキシコ・メキシコシティー・コントララスステーキを組織する。

2004年——メキシコには2つの管理地域、12の神殿、20の伝道部、200近いステーキがあり、会員数は100万人に達する。

El Museo de Historia del Mormonismo en México A.C. の厚意により掲載。



ます。コール神殿長の話では、モンテレー神殿では神殿宣教師はおらず、儀式執行者は皆地元の会員が務めています。神殿の管轄区域に住む多くの会員たちは、神殿の業の精神を理解しています。少し前ですが、あるステーキのグループは、自分たちの行う神殿の儀式のために3,000人の死者の名前を持って来たほどでした。

永遠への望み

メリダで最初に建てられた教会の集会所は、建築を手伝った会員にとって、とても意義深いものでした。当時の方針では、会員たちが費用を捻出^{ねんしゅつ}しなくてはなりません。当時を思い出すメキシコ・メリダステーキ、サシル・ア第1ワードのサイディ・カステージョ・デ・ガオナはこのように言います。「会員たちは、費用の半分を労働によって払いました。ほんとうにきつい労働でした。」当時若かったサイディは、プロジェクトに参加しながら、れんがを作る機械の操作法を学びました。建築宣教師で後に夫となるノエと知り合ったのもこの建設現場でした。

サイディはこう話を続けます。「教会堂が取り壊されたときは、とても悲しかったです。でも大事なことは、より価値のあるものを建てることでした。」今、その跡地にメリダ神殿が建っています。



**上——1968年に行われたステーキ大会の
小冊子を手にするグアダラハラの
マヌエル・ガルシア；
メリダに住むブルゴス家のカルリトス、
カルロス、アラセリー。
右——メリダに住むマリア・テレサ・
ソリス・デ・エルシラ姉妹と
マリア・アナスタシア・ソリス姉妹。**

10代のころ、サイディはメリダの神殿にいる自分を夢で見ました。「神殿が建つことを知っていました。その日まで生きられ

るよう主に祈り求めました。」

ガオナ夫妻は結婚して35年以上になります。二人はメキシコシティー神殿が奉獻されて間もなく、結び固められました。これまでの年月、二人は神権および補助組織の召しを幅広く、忠実に果たすことで教会を支えてきました。メリダ神殿が2000年に奉獻されたとき、ガオナ夫妻は神殿でも奉仕する準備ができていました。二人は最初に召された神殿儀式執行者となったのです。

2002年、ガオナ兄弟は神殿で奉仕しているさなか、突然亡くなりました。伴侶^{はんりよ}を失ったガオナ姉妹にとって、結婚が永遠のものであるとの知識だけがその悲しみを乗り越えるうえで救いとなりました。「福音がなかったら、死にたくなくていでしょう。福音を知っているの、生き続ける力を得ることができました。福音はわたしにとってすべてです。それは夫にとってもすべてでした。」

彼女は夫を失ったことから来る心の痛みを癒^{いやす}すために、再び奉仕の業に戻りました。神殿での奉仕に加えて、5人の子供と孫たちのために、また教会の召しのために自らをささげることによって慰めを得ています。「働いているときがいちばん幸せです。」ガオナ姉妹はそう言います。

このことはメキシコのすべての教会員に言えることかもしれません。いちばん幸せそうに見える人は、人に奉仕するために、そして福音を広めるために努力している人です。そのような人たちは、意識はしていないのかもしれませんが、メキシコの教会が力強く発展するというキンボール大管長の夢の実現に、日々手を貸しているのです。■



子供がおぼれているの!

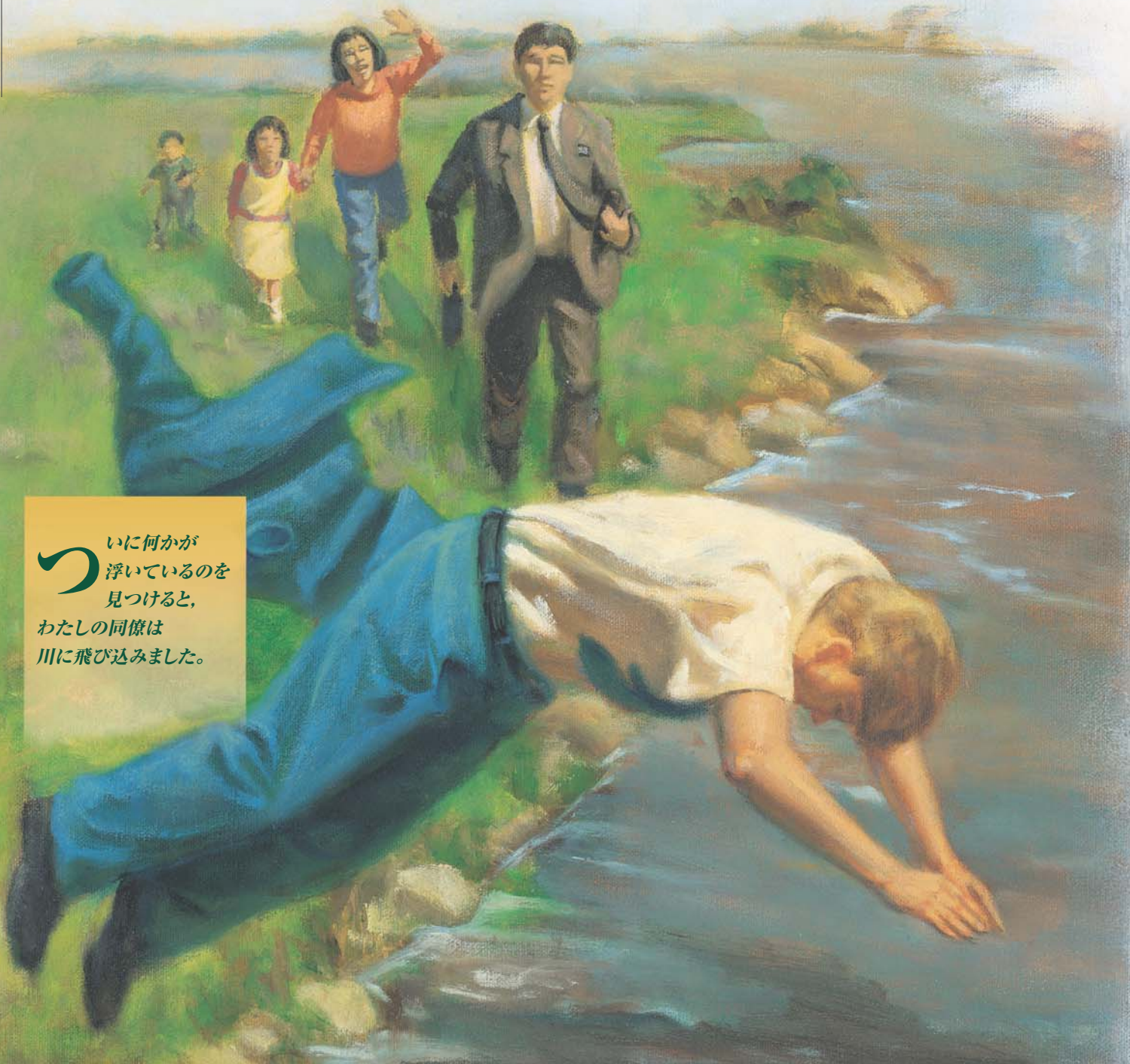
中塚祐文

あるとき日曜学校の教師がこう尋ねました。「このクラスの帰還宣教師の中で、伝道中に経験した苦難について話してくれる人はいませんか。」わたしは伝道地で

特にこれという苦難を経験しなかったのですが、次の話をしてみようと思いました。それは熱心に働く巡回宣教師で、わたしの先輩同僚であった宣教師の経験です。

同僚の靴は擦り切れていて、街頭伝道によって足にたくさんの水ぶくれができていました。ある日、わたしたちは靴を替えるために、早めにアパートに帰って昼食を取らなければなりません。昼食の後アパートを出るとき、わたしは彼の足のことを考えて、近所を伝道するものと思っていました。ところが同僚は、遠くの地域で伝道する

ついに何か
浮いているの
を見つけると、
わたしの同僚は
川に飛び込みました。



ようにという促しを感じていたのです。

わたしたちが川岸に沿って歩いてきたとき、一人の女性と数人の子供たちが走って来て、女性がこう叫びました。「助けて！ 子供がおぼれているの！」男の子が川に落ち、水が濁っているために見つからないのです。数分間、わたしたちは目を凝らして川面を見詰め、ついに何か浮かんでいられるのを見つけました。同僚は濁った川に飛び込んで子供をつかみ、岸に引き上げました。子供の唇は真っ青で、呼吸が止まり、明らかに手遅れでした。

人工呼吸を試みましたが、効果がありません。救急隊員が到着して、蘇生させるための努力を続けると、ついに子供は幾らか水を吐き出して息を吹き返しました。そのころには大勢の人が集まっていた。人々は子供が助かったのを見ると、感動のあまり涙を流しました。

この経験はわたしにとって貴重な教訓になりました。同僚がこの少年の命を救ったように、宣教師は人々の霊を救うということ、主は教えてくださったのです。人々を霊的に救うことは、わたしたちの召しでした。

日曜学校のクラスでこの話を紹介し終えると、最近伝道部から帰還した兄弟から「どの伝道部で働いていたのですか」と尋ねられました。

わたしは答えました。「日本札幌伝道部です。」

「あなたがその子供を助けたのは、旭川でしたか。」

「はい、そうです。」

すると彼はこう言いました。「あなたが話した子供は、わたしの同僚からバプテスマを受けました。そのバプテスマの1週間後に、わたしは旭川に転任して男の子に会いました。その子は、川でおぼれているところを宣教師に助けられたと話していました。」

主は不思議な方法でわたしたちを導かれます。歩くのが困難であったにもかかわらず、同僚が遠く離れた場所まで午後伝道するよう靈感を受けたのも、わたしたちがちょうどその時間に川岸を歩いていたのも、単なる偶然ではありませんでした。

助けられたその少年は、今自分を救ってくれた人と同じように宣教師になりたいと願っています。14年前に伝道を終えたと思っていたが、この少年が伝道に出ると、ある意味でわたしの伝道は続いていくのだと思いました。■

中塚祐文兄弟は、日本岡山ステーキ米子ワードの会員です。

よく似た二つのテーブル

ベス・エリス・リーが
ソン・クワン・リーから聞いた話

1975年にサイゴンが陥落するわずか3日前、わたしは大家族のうち5人と一緒にベトナムを逃れ、ユタ州プロボの小さなトレーラーハウスで生活するようになりました。家から持ち出せたのは小さなバッグが一つだけで、わたしたちは難民として英語を学ぶ毎日でした。姉妹たちはベトナムで教会に入り、わたしは改宗したばかりでした。プロボではワードの会員たちが家族に必要なものを提供してくれました。また、しっかりと結びついた地域社会は物資を集め、移住者であるわたしたちが快く生活できるようにしてくれました。

わたしは祭司定員会の一員として、近くに住む大家族のジョンソン兄弟と一緒にホームティーチングを行うよう割り当てられました。ある日、ジョンソン兄弟は我が家の台所にテーブルがないことに気づきました。そして翌日、台

所の流し台に面した壁にぴったり合うテーブルを持って現れたのです。それは一風変わっていたものの、機能的なテーブルでした。一風変わったと言うのは、2本の脚はテーブルの天板の柄と調和していましたが、ほかの2本が不釣り合いだったからです。また、古びた天板の一方の縁に沿って木製の小さな釘が何本も突き出ていました。

そのうちに、わたしたちはこのユニークなテーブルを毎日使って、調理の支度や簡単な食事をするようになりました。それでも家族全員の食事は、ベトナム風に布の上に料理、皿、はしを広げて、今までどおり床に座って食べました。

ある晩、わたしはジョンソン家の玄関に入って、ホームティーチングに出かけるために待っていました。何げなく近くの台所を見ると、驚いたことに、わたしたちがもらったものとうり二つのテーブルがあるではありませんか。唯一の違いといえば、我が家のテーブルでは木釘が出ていた縁の部分に、ジョンソン家のものには穴が開いていることでした。それで分かりました。この愛にあふれた兄弟は、わたしたちが困っているのを見て、自宅の台所にあるテーブルを半分にして、それぞれに新しい脚を付けたのです。

ジョンソン家族にとって、この半分になった家具が小さすぎるのは明らかでした。恐らく、完全な状態のときでも十分な大きさではなかったでしょう。ジョンソン家族がわたしたちと同じようにベトナム風に床に座って食事をしている姿を想像してしまいます。

この親切な行いは、人生を通して真の施しとは何かをはっきりと思い起こさせてくれます。■

ソン・クワン・リーとベス・エリス・リーは、テキサス州ハーストステーキ、パークグレンワードの会員です。

彼女がわたしの答え でした

ドリー・ライト

何年も前のどんよりと曇った日
でした。友人から電話が
あって、ユタ州ジョーダンリ
バー神殿と一緒に参入しないかと誘
われました。あまり気が乗りませんで
した。その日は、この世的な事柄が重
く心にのしかかっていたからです。自
分には価値がないように感じられ、何
にも増して、自分がワードで必要とさ
れているとは思えませんでした。

しかし、少しためらった後、わたし
は友人の誘いを受け入れ、心の中で
祈りました。神殿に参入して主の業を
行うときに、主の助けが与えられて心
の平安と祈りの答えを見いだせるよう
に求めたのです。

神殿のセッションは素晴らしいもの
でしたが、祈り求めていた答えは特に
感じませんでした。帰り仕度をして友
人を待っていると、車いすの女性がぶ
つかってきました。身をかがめて痛む
足をさすろうとしたとき、感じのよい声
が聞こえてきました。「ほんとうに
ごめんなさい。赦してくだ
さいますか。」彼女はわたし
の頭に優しく触れて言いま
した。「大丈夫ですか、姉妹。」

わたしは目を上げて、清ら
かな愛に満ちた天使のような
顔を見ました。彼女もわたし
の目を見ると、手を握り締め
て言いました。「この教会は
あなたを必要としています。
あなたの愛を必要としている
人がたくさんいます。どうぞ
人々に手を差し伸べてくださ
い。そうすれば、人々もあなたに手を

差し伸べてくれるでしょう。あなたは
主の王国で必要とされ、望まれ、愛さ
れているのですよ。」

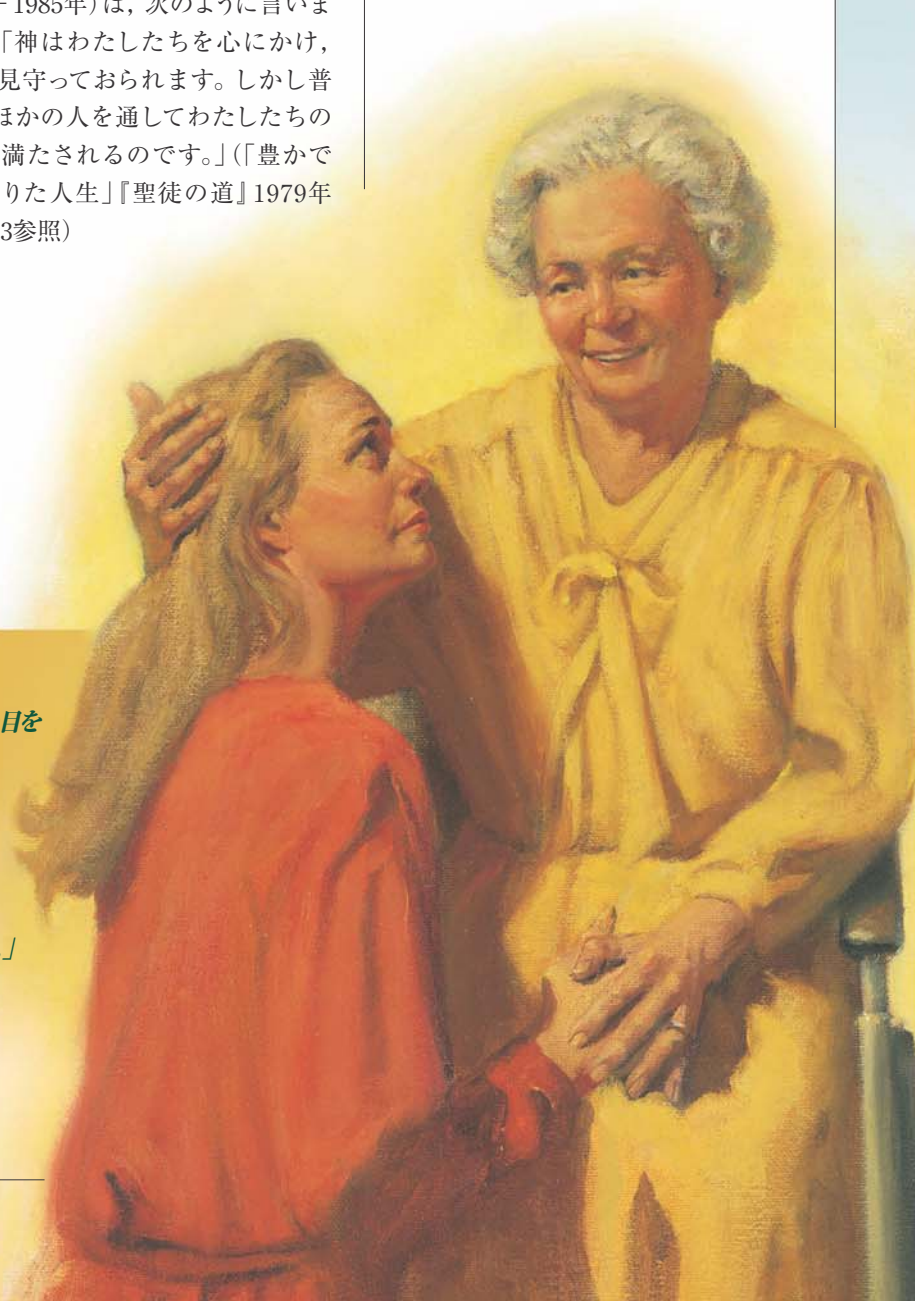
目から涙があふれ、わたしは彼女に
身を預けたまま、ひとしきり泣きました。
そしてわれに返ると、喜びの涙をぬぐ
って言いました。「あなたはわたしの
祈りにこたえてくださいました。」

そのときに気づいたのですが、わた
しが話していたのはカミラ・アイリン
グ・キンボール姉妹でした。ご主人の
スペンサー・W・キンボール大管長
(1895-1985年)は、次のように言いま
した。「神はわたしたちを心につけ、
いつも見守っておられます。しかし普
通は、ほかの人を通してわたしたちの
必要を満たされるのです。」(『豊かで
満ち足りた人生』『聖徒の道』1979年
6月号、3参照)

こうしてわたしは力を得て、喜びを
もって帰宅しました。その日から愛を
与える力を見いだしたのです。あの
輝かしい日に主の宮の中で、祈りの答
えと平安が思いがけない方法で与え
られたことを、わたしは決して忘れな
いでしょう。■

ドリー・ライトはユタ州トゥーエル東ステーク、
レークビューワードの会員です。

彼女は
わたしの目を
見ると、
手を握り締めて
言いました。
「この教会は
あなたを
必要としています。」



御存じでしたか？

開拓者の時代

1847年7月22日から24日にかけて最初の末日聖徒の開拓者がソルトレイク盆地に入植しました。迫害のない、自由に神を礼拝できる地を求めてやって来たのです。開拓者たちはアメリカ西部に教会を建て、福音はとどまることなく広まり、地上の多くの国々にもたらされました。今月、開拓者の犠牲を思い起こし、開拓者をさらに理解できるようになるための幾つかの方法を紹介しましょう。

- もしあなたの先祖が開拓者ならば、彼らの日記や記録を読んでみましょう。今日でも開拓者の生活から多くを学ぶことができます。
- あなたの国や家族で最初にバプテスマを受けた人々について調べてみましょう。彼らも開拓者です。
- 開拓者や回復を記念する賛美歌を覚えましょう。
- あなたがもっと自立するために何ができるか考えてみましょう。自分の菜園を作ったり、裁縫を習ったり、応急手当てについて学ぶのもよいでしょう。



指導者へのヒント

あなたがクラス会長会または定員会の副会長であるならば、あなたの会長、若い男性、若い女性の指導者、神権指導者を支えるためにたくさんことができます。彼らの重荷を軽くするために自分に何ができるかじっくり考えてみましょう。割り当てを果たす時間を作ることや集会に時間どおりに行くようにすることもよいでしょう。

- 「神への務めを果たす」プログラムや個人の進歩プログラムの一環として、青少年が集まり地元の史跡を清掃するボランティア活動を行ってはどうでしょうか。

イスラエルがアマレクとその民に攻撃されたとき、モーセが両手を挙げている間だけ、イスラエルは勝利を収めることができました。しかしモーセが疲れてきて手を下げると、アマレク側が勝ち始めました。

「しかし……、アロンとホルが石を取って、モーセの足もとに置くと、彼はその上に座した。そしてひとはこちらに、ひとはあちらにいて、モーセの手をささえたので、彼の手は日没までさがらなかった。」(出エジプト17:12)

モーセの助け手たちがモーセの両手を支えたので、イスラエルは主の力を受けて戦いに勝つことができました。あなたも助け手である副会長として、アロンたちの良い模範に倣うことができます。

背景の写真／マーティ・メーヨー。「モーセの両手を支えるアロンとホル」作者不詳。「エミグレーション・キャニオンにて、1847年7月24日」パロイ・A・イートン画

- ^{きょう}今日から定期的に日記をつけましょう。そうすれば、あなたの子孫はあなたの生活や神への信仰について知ることができます。





聖文と『リアホナ』は霊的な必要を満たしてくれます

わたしは19歳です。4年前にバプテスマを受けました。真実の教会の会員であることに感謝しています。聖文と教会機関誌を読んでたくさんの祝福を受けました。『リアホナ』が読めること^{あかし}にとっても感謝しています。わたしの証は『リアホナ』を読むことで強められました。また世界中の様々な地域にある教会について知識を深めることができました。わたしは聖文と『リアホナ』が大好きです。わたしの霊的な必要を満たしてくれるからです。

フィリピン・アグーステーク、
ロザリオワード
エメリン・M・キニット

『リアホナ』は慰めと喜びをもたらしてくれます

『リアホナ』は、読んで深く考える人々の心に、慰めと喜びをもたらしてくれます。毎日の生活の中でわたしたちはよく困難に遭遇します。しかし神は、預言者と教会の指導者を通して、わたしたちの必要にこたえてくださいます。

2003年3月号の『リアホナ』はとて^もためになりました。そのメッセージから力が得られました。もしわたしたちがそれらの原則に従い、それを実践するなら、生活を改善し、豊かな祝福を受けることができます。

ハイチ・ポルトープランスステーク、
セントラルワード
サスキア・カラ・ピエール・ルイス



すばらしい有益な原則を教えてください

『リアホナ』が届くといつも幸せな気持ちになります。『リアホナ』を読むと

すばらしい有益な原則を学ぶことができるからです。特に好きな記事は、「質疑応答」「大管長会メッセージ」それに「チャーチ・ニュース」です。教会が回復されたことと、わたしが教会の会員であることに心から感謝しています。
ブラジル・フォルタレザ・モンテステーク、
エクスペディショナルリオスワード
ゲルザ・シルバ・ドス・サントス

伝道に出る決心をしました

2001年10月号の『リアホナ』の表紙を見たとき、伝道に出る決心をしました。それは伝道の特集号でした。霊的にまた物質的に備えをしているとき、伝道について知るべきことはすべて『リアホナ』に書いてあることが分かりました。

わたしは表紙から裏表紙まで読むようにしています。とりわけ「末日聖徒の声」は楽しみです。人々の経験を読むとき自分の証も強められます。
メキシコ・ベラクルス伝道部
デビッド・アバロス・バンダ長老

子供たちの美術作品を募集します

『リアホナ』では預言者ジョセフ・スミスとその生涯の出来事を描写した子供たちの美術作品を募集しています。年齢条件は3歳から12歳です。下記まで郵送か電子メールでお送りください。

郵送先——Children's Art, *Liahona*, Room 2420, 50 East North Temple Street, Salt Lake City, UT 84150-3220, USA

電子メール——cur-liahona-imag@ldschurch.org

作品には、氏名、年齢、住所、ワードおよびステーク(または支部および地方部)、作品についての簡単な説明を書いたメモを添えてください。

サミ・サン・ファン・ランバオ(8歳)とアドリアン・C・ペガ・フランコ(8歳)の作品





表紙——祈りに関する活動に参加している、
メキシコ・グアダハラハの初等協会の子供。
左上——グアダハラハのホセ・ラモス家族。
右上——歴史的なメキシコシティの
サンペドロ・マルティル集会所。
左下——訪問者センター(手前)と
メキシコ・メキシコシティ神殿。
右下——メキシコ・メリダ中央ステークに
新しく完成したマデロ集会所。
「100万人に達するメキシコの会員」
34ページ参照。